



6月20日(木) A会場(センター 1F 大会場) [展示ホールB]

8:30~10:30

会長企画シンポジウム 1

科学的根拠に基づいた精神保健医療政策立案：病床推計法の進化からみたこれからの方向性

司会：染矢 俊幸 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野
伊藤 弘人 労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター

PS1-1

統合失調症入院患者数の将来予測：推計法開発の根拠と妥当性について

○染矢 俊幸
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

PS1-2

新しい精神保健福祉資料と 630 調査

○山之内 芳雄
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神医療政策研究部

PS1-3

レセプトデータを用いた保険診療の実態分析

○吉村 健佑
千葉大学医学部附属病院病院経営管理学研究センター

PS1-4

証拠に基づく政策立案を推進するための政府による公的統計の整備と具体的活用例

○伊藤 弘人
労働者健康安全機構

〈コーディネーター〉 染矢 俊幸 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野
伊藤 弘人 労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター

10:40~11:40

会長講演

司会：神庭 重信 九州大学

PL

ーときをこえてはばたけー 人・こころ・脳をつなぐ精神医学

○染矢 俊幸
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野



11:50~12:50

先達に聞く

司会：染矢 俊幸 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

MP

精神科診断学と ICD の今後の課題

○高橋 三郎
埼玉江南病院



13:50～15:50 **シンポジウム 24**

日本医師会認定産業医制度産業医学研修会対象セッション

精神・発達障害者の就労支援に関わる精神科医（主治医・産業医）の必須アイテム

司会：神山 昭男 医療法人社団桜メデイスン産業保健サポートセンター
奥山 真司 トヨタ自動車

S24-1 働き方改革とこれからのメンタルヘルス対策

○神ノ田 昌博
厚生労働省

S24-2 労働者の適性を重視した就労支援

○渡辺 洋一郎
医療法人メディカルメンタルケア横山・渡辺クリニック

S24-3 精神・発達障害者の就労支援に関わる精神科医（主治医・産業医）の必須アイテム～精神科主治医の立場から～

○高野 知樹
医療法人社団弘富会神田東クリニック

S24-4 嘱託産業医の立場から

○森口 次郎
一般財団法人京都工場保健会

〈コーディネーター〉 神山 昭男 医療法人社団桜メデイスン産業保健サポートセンター
紫藤 昌彦 医療法人社団コスモス会紫藤クリニック
高野 知樹 医療法人社団弘富会神田東クリニック

16:00～18:00 **委員会シンポジウム 7（精神保健に関する委員会）**

日本医師会認定産業医制度産業医学研修会対象セッション

うつ病から復職就労者の再発再燃を防ぐために精神科医と産業医ができること

司会：吉村 玲児 産業医科大学精神医学
井上 幸紀 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

CS7-1 うつ病理解と精神科医と産業医との連携

○新開 隆弘
産業医科大学精神医学教室

CS7-2 4つのケアを念頭に置いた職域との連携

○井上 幸紀
大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

CS7-3 うつ病から復職就労者の再発再燃を防ぐために精神科医と産業医ができること

○高野 知樹
医療法人社団弘富会神田東クリニック

CS7-4 うつ病から復職後就労者の再発再燃を防ぐために産業医ができること

○塚本 浩二
東京ガス株式会社安全健康・福利室

〈コーディネーター〉 吉村 玲児 産業医科大学精神医学



6月20日(木) B会場 (センター 1F 中会場) [展示ホールA-1]

8:30~10:30 シンポジウム 1 認知症とてんかんにおける記憶障害を探る

司会：渡辺 雅子 新宿神経クリニック
田中 晋 特定医療法人楽山会三島病院

S1-1 高齢者てんかんをめぐって

○吉野 相英
防衛医科大学校精神科

S1-2 認知症における記憶障害

○数井 裕光
高知大学医学部附属病院神経精神科

S1-3 認知機能とてんかん性放電

○塩崎 一昌^{1,2}
¹横浜市総合保健医療センター地域精神保健部、²公立大学法人横浜市立大学附属病院精神科

S1-4 てんかん性健忘と認知症

○鵜飼 克行^{1,2}
¹総合上飯田第一病院老年精神科、²名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

〈コーディネーター〉 渡辺 雅子 新宿神経クリニック
吉野 相英 防衛医科大学校精神科

10:40~12:40 シンポジウム 12 高齢者に求められる精神療法とはどのようなものか

司会：中村 敬 東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科・森田療法センター
繁田 雅弘 東京慈恵会医科大学精神医学講座

S12-1 高齢者のこころの在り様

○阿保 順子
北海道医療大学

S12-2 高齢者の精神療法 -その課題と方法

○北西 憲二
森田療法研究所/北西クリニック

S12-3 高齢者に対する精神療法的アプローチ：生老病死に逆らわない生き方を支える

○新村 秀人
慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

S12-4 認知症患者に対する心理・社会的介入としての精神療法

○稲村 圭亮
東京慈恵会医科大学精神医学講座

〈コーディネーター〉 中村 敬 東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科・森田療法センター

13:50~14:50 一般演題（口演）1
統合失調症 1

司会：井上 猛 東京医科大学精神医学分野

1-01-1 統合失調症の回復を予測する養育環境に関する研究

○石井 洵平¹、小高 文聰²、宮田 久嗣²、稲村 圭亮²、瀬戸 光³、山寺 亘¹、繁田 雅弘²

¹東京慈恵会医科大学葛飾医療センター精神神経科、²東京慈恵会医科大学附属病院、³公益財団法人復光会総武病院

1-01-2 Clozapine 中止後に brexpiprazole による維持を試みた治療抵抗性統合失調症の 2 例

○熊倉 隼、岡田 剛史、安田 学、塩田 勝利、小林 聡幸、須田 史朗
自治医科大学附属病院精神医学講座

1-01-3 統合失調症患者における Brexpiprazole の使用経験

○菱本 明豊、青山 慎介、大塚 郁夫、朴 秀賢、蓬萊 政、木村 敦、新名 尚史、山木 愛久、
曾良 一郎
神戸大学大学院医学研究科精神医学分野

1-01-4 統合失調症の新規遺伝的リスクの発見 -新たな検出法提案も交えて-

○大石 賢吾¹、伊豫 雅臣^{1,2}、新津 富央¹、高瀬 正幸¹、佐藤 泰憲³、金原 信久²

¹千葉大学医学部大学院医学研究院精神医学、²千葉大学社会精神保健教育センター、
³慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学

1-01-5 統合失調症患者における脳内コンドロイチン硫酸鎖の変化

○湯川 尊行^{1,2,3}、岩倉 百合子²、武井 延之²、斎藤 摩美^{2,3}、渡部 雄一郎³、豊岡 和彦⁴、
五十嵐 道弘⁵、新里 和弘⁶、大島 健一⁶、國井 泰人⁷、矢部 博興⁷、松本 純弥⁷、和田 明⁷、
日野 瑞城⁷、入谷 修司^{6,8}、丹羽 真一⁷、竹内 亮子⁹、高橋 均⁹、柿田 明美⁹、染矢 俊幸³、
那波 宏之²

¹魚沼基幹病院精神科、²新潟大学脳研究所分子神経生物学分野、³新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、
⁴南浜病院、⁵新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞機能学分野、⁶新潟大学超域学術院、⁷東京都立松沢病院、
⁸福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、⁹名古屋大学大学院精神医療学講座、⁹新潟大学脳研究所病理学分野

14:50~15:50 一般演題（口演）15
統合失調症 3

司会：榎戸 美佐子 医療法人社団和敬会谷野呉山病院

1-015-1 統合失調症家族心理教育による親の EE の変化

○渡部 和成
医療法人崇徳会田宮病院精神科

1-015-2 統合失調症の指タッピングについて（第 6 報）-MDI との質的特徴の比較-

○大江 米次郎¹、木下 秀夫²、夏目 誠²
¹大阪樟蔭女子大学学芸学部、²医療法人養心会国分病院

1-015-3 統合失調症認知機能簡易評価尺度日本語版を用いた統合失調症患者の臨床的特徴と認知機能との関連

○國塚 拓郎、鈴木 雄太郎、染矢 俊幸
新潟大学医歯学総合病院精神科

1-015-4 心因反応が疑われたが、精神病症状を呈したため電気けいれん療法を行った精神遅滞を伴う統合失調症の一症例

○長濱 道治¹、河野 公範¹、伊藤 司¹、錦織 光¹、伊豆原 宗人¹、小池 昌弘¹、松田 泰行¹、
三木 啓之¹、金山 三紗子¹、三浦 章子¹、山下 智子¹、大舘 孝治¹、林田 麻衣子¹、岡崎 四方¹、
橋岡 禎征¹、和氣 玲¹、宮岡 剛¹、稲垣 正俊¹、堀口 淳²
¹島根大学医学部精神医学講座、²島根大学医学部免疫精神神経学共同研究講座



1-015-5

千葉クロザピンサターンプロジェクト～千葉県クロザピン治療連携システム～

○佐々木 剛^{1,2}、仲田 祐介²、新津 富央²、小松 英樹²、石川 雅智²、伊豫 雅臣^{1,2}

¹千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部、²千葉大学大学院医学研究院精神医学

16:00～18:00

シンポジウム 25

全国の精神保健福祉センターにおける自殺対策の取り組みについて

司会：高橋 祥友 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学講座

太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

S25-1

自殺対策計画における目標値の設定について

○竹島 正¹、山内 貴史²、南島 和久³、中西 三春⁴、坂元 昇⁵

¹川崎市精神保健福祉センター、²東京慈恵会医科大学、³新潟大学、⁴公益財団法人東京都医学総合研究所、

⁵川崎市立看護短期大学

S25-2

若年層における自殺予防対策の取り組み～鳥取県の自殺統計から～

○原田 豊

鳥取県立精神保健福祉センター

S25-3

学校における包括的な自殺対策

○二宮 貴至

浜松市精神保健福祉センター

S25-4

民間団体と協働して取り組む啓発活動について

○波床 将材

京都市こころの健康増進センター

S25-5

マンガ冊子を活用した中高生向け自殺対策について

○鎌田 隼輔

札幌市精神保健福祉センター/札幌市保健福祉局障がい保健福祉部

〈コーディネーター〉 田中 治 青森県立精神保健福祉センター

太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

6月20日(木) C会場(センター 1F 中会場) [展示ホールA-2]

8:30~10:30 **委員会シンポジウム 1** (精神医療・保健福祉システム委員会)
退院後支援の現状と課題 -措置入院を中心に-

司会：山下 俊幸 京都府立洛南病院
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

CS1-1 措置入院制度の現状

○瀬戸 秀文
長崎県精神医療センター精神科

CS1-2 措置入院に関する保健所実態調査

○佐竹 直子
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

CS1-3 措置入院者の退院後支援における課題～ガイドライン策定に至る経緯と現状を踏まえて～

○金田一 正史
千葉県習志野健康福祉センター〔習志野保健所〕

CS1-4 岡山市保健所における措置入院者等への退院後支援

○妹尾 忍
岡山市こころの健康センター

CS1-5 【指定発言】

○藤井 千代
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈コーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
松原 三郎 社会医療法人財団松原愛育会松原病院
吉住 昭 医療法人翠会八幡厚生病院

10:40~12:40 **シンポジウム 13**
精神保健予防に向けた学校・地域における連携

司会：鈴木 道雄 富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学
松本 和紀 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

S13-1 都立学校における専門医派遣事業を通じての学校と医療の連携について

○武士 清昭
あさかホスピタル

S13-2 東日本大震災被災地域における学校教育と精神保健医療福祉との連携による普及啓発活動

○片柳 光昭¹、千葉 学²、高橋 祥恵²、橋本 佳純²、守屋 佑亮³、横山 志帆³、高橋 和成³、
遠藤 眞⁴、松浦 雄介⁴、斎藤 里砂⁵、菅野 翼⁶、小山 寛子⁷、菅野 優⁷、小野 かおり⁸、
永沼 直子⁸、高橋 智美¹、相澤 理沙¹、遠藤 紀寿⁹
¹みやぎ心のケアセンター、²気仙沼保健福祉事務所、³光が丘保養園、⁴三峰病院、⁵気仙沼市障害者支援センター、
⁶気仙沼市社会福祉課、⁷気仙沼市健康増進課、⁸南三陸町保健福祉課、⁹宮城県精神保健福祉センター

S13-3 学校教育と地域機関の協働による小学校におけるメンタルヘルス対策事業

○全 有耳
京都府立医科大学大学院医学研究科小児科学

S13-4 中学校における学校と地域の精神保健医療の連携ネットワーク事例

○船渡川 智之、大岡 美奈子、山口 大樹、片桐 直之、根本 隆洋、水野 雅文
東邦大学医学部精神神経医学講座



S13-5

【指定発言】

○水野 雅文
東邦大学医学部精神神経医学講座

〈コーディネーター〉 松本 和紀 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野
鈴木 道雄 富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学
水野 雅文 東邦大学医学部精神神経医学講座

13:50～14:50 一般演題（口演）2
統合失調症 2

司会：大森 哲郎 徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野

1-02-1

日本人統合失調症患者における抗精神病薬多剤併用療法と喫煙との関係

○鈴木 雄太郎^{1,2}、須貝 拓朗²、山崎 學³、下田 和孝⁴、森 隆夫³、尾関 祐二⁴、松田 ひろし³、
岡本 呉賦³、寒河江 豊昭⁵、菅原 典夫⁶、古郡 規雄⁷、染矢 俊幸²
¹医療法人敬愛会末広橋病院精神科、²新潟大学医歯学総合病院、³公益社団法人日本精神科病院協会、
⁴獨協医科大学病院、⁵山形県立米沢栄養大学、⁶国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
⁷獨協医科大学精神神経医学講座

1-02-2

アセナピンの Sc の社会機能障害に対する効果についての評価考察

○葉 高文
特定医療法人浩洋会田中病院医局

1-02-3

Brexpiprazole への switching によって陰性症状と自覚的服用感が著明に改善した統合失調症の
1 例

○宮本 聖也¹、中島 和樹^{1,2}、岩下 覚¹
¹桜ヶ丘記念病院精神科、²慶應義塾大学病院

1-02-4

妄想性障害の病因は視床背内側核の内側(大細胞性部分)の機能異常なのか？ -教科書的知見による
考察の試み

○野村 和広
野村クリニック

14:50～15:50 一般演題（口演）16
その他

司会：米田 博 大阪医科大学神経精神医学教室

1-016-1

九州大学病院救命救急センターにおけるリエゾン活動：自殺企図症例への早期介入

○田中 裕記¹、大橋 綾子¹、赤星 朋比古²、平野 羊嗣¹、田口 智章²、神庭 重信¹
¹九州大学大学院医学研究院精神病態医学、²九州大学病院救命救急センター

1-016-2

認知症高齢者と運転免許をめぐる諸問題 -検診命令のもとで診察の現実-

○上村 直人
高知大学医学部附属病院神経精神科学教室

1-016-3

神経性やせ症患者に対する包括的入院診療プログラムの効果：退院 1 年後の予後調査

○竹林 淳和^{1,2}、栗田 大輔^{1,2}、刀根 那津美¹、山末 英典¹
¹浜松医科大学附属病院精神神経科、²静岡県摂食障害治療支援センター

1-016-4

医学的に不安定な摂食障害患者に対する皮下埋め込み型中心静脈ポートの有用性について

○黒鳥 偉作¹、三井 信幸¹、曾山 武士²、渡辺 晋也¹、賀古 勇輝¹、久住 一郎¹
¹北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室、
²北海道大学大学院医学研究院放射線科学分野放射線医学教室

1-016-5 妊娠中に悪阻とともに幻聴を呈した 1 例

○岡安 寛明¹、尾関 祐二²、下田 和孝¹

¹獨協医科大学精神神経医学講座、²滋賀医科大学精神医学講座

16:00～18:00 シンポジウム 26

不安症治療でベンゾジアゼピン系抗不安薬はいかに用いられるべきか～最適化を目指すためのコツと注意点～

司会：松永 寿人 兵庫医科大学精神科精神科神経科講座
塩入 俊樹 岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野

S26-1 パニック症治療でベンゾジアゼピン系抗不安薬はいかに用いられるべきか：最適化を目指すための
コツと注意点

○塩入 俊樹

岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野

S26-2 社交不安症治療でベンゾジアゼピン系抗不安薬はいかに用いられるべきか

○朝倉 聡

北海道大学保健センター・同大学院医学研究院精神医学教室

S26-3 全般不安症治療でベンゾジアゼピン系抗不安薬はいかにもちいられるべきか

○大坪 天平

東京女子医科大学東医療センター精神科

S26-4 PTSD 治療における抗不安薬の位置づけ

○金 吉晴

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

S26-5 強迫症治療でベンゾジアゼピン系抗不安薬はいかに用いられるべきか

○松永 寿人

兵庫医科大学精神科精神科神経科講座

〈コーディネーター〉 松永 寿人 兵庫医科大学精神科精神科神経科講座



6月20日(木) D会場 (センター 2F 中会場) [メインホールA]

8:30~9:30

教育講演 1

司会：入谷 修司 名古屋大学大学院医学系研究科精神医療学講座

EL1

精神神経機能障害としての‘てんかん’：病態機序を神経病理学からさぐる

○柿田 明美

新潟大学脳研究所病理学分野



9:35~10:35

教育講演 2

司会：後藤 雅博 こころのクリニックウイズ

EL2

精神障害リハビリテーション -人が回復するということ

○池淵 恵美

帝京平成大学大学院臨床心理学研究科



10:40~11:40

教育講演 3

司会：岡田 暁宜 名古屋工業大学保健センター

EL3

精神分析的アプローチから見た自閉スペクトラム症と自閉スペクトラム心性について

○福本 修

長谷川病院精神科



11:45~12:45

教育講演 4

司会：井上 幸紀 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

EL4

摂食障害の認知行動療法改良版 (CBT-E)

○安藤 哲也

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部



13:50～14:50 **教育講演 5**

司会：木下 利彦 関西医科大学精神神経科

EL5

認知機能低下にともなう不安への精神療法的アプローチ～軽度認知障害やアルツハイマー病を対象として～

○繁田 雅弘、稲村 圭亮
東京慈恵会医科大学精神医学講座



14:55～15:55 **教育講演 6**

司会：紫藤 昌彦 医療法人社団コスモス会紫藤クリニック

EL6

トラウマ記憶を処理する心理療法：EMDR（眼球運動による脱感作と再処理法）

○市井 雅哉
兵庫教育大学



16:00～17:00 **教育講演 7**

司会：千葉 茂 旭川医科大学医学部精神医学

EL7

精神科における高齢者てんかん診療のこつを探る

○渡辺 雅子
新宿神経クリニック



17:05～18:05 **教育講演 8**

司会：中込 和幸 国立精神・神経医療研究センター

EL8

NDB 等を用いた多様な精神疾患の患者数の集計

○山之内 芳雄
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神医療政策研究部





6月20日(木) E会場(センター 2F 中会場) [メインホールB]

8:30~10:30 **委員会シンポジウム 2 (精神療法委員会)**
精神科専門医に必要な精神療法の学び方

司会：菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科
池田 暁史 文教大学人間科学部臨床心理学科

CS2-1 精神療法委員会のアンケート結果からの展望

○藤山 直樹
個人開業

CS2-2 精神療法の必要性について

○原田 誠一
原田メンタルクリニック

CS2-3 精神療法研修があたえてくれたこと

○渡辺 俊之
渡辺医院/高崎西口精神療法研修室

CS2-4 精神療法の学び方～個別性とプログラム～

○中尾 智博
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

CS2-5 〔指定発言〕

○福田 正人
群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

〈コーディネーター〉 池田 暁史 文教大学人間科学部臨床心理学科
菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科

10:40~12:40 **シンポジウム 14**
不安症・強迫症の診療ガイドライン

司会：井上 猛 東京医科大学精神医学分野
清水 栄司 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学/岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野

S14-1 パニック症の診療ガイドライン

○塩入 俊樹
岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野

S14-2 強迫症(OCD)の診療ガイドライン

○松永 寿人
兵庫医科大学精神科神経科学講座

S14-3 社交不安症の診療ガイドライン

○朝倉 聡¹、山田 恒²、藤井 泰⁵、三井 信幸¹、吉永 尚紀³、金井 嘉宏⁴
¹北海道大学保健センター・同大学院医学研究院精神医学教室、²兵庫医科大学精神科神経科学講座、³宮崎大学テニユアトラック推進機構、⁴東北学院大学教養学部人間科学科、⁵北海道立向陽ヶ丘病院

S14-4 全般不安症の診療ガイドライン

○大坪 天平
東京女子医科大学東医療センター精神科

〈コーディネーター〉 井上 猛 東京医科大学精神医学分野
清水 栄司 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

13:50~14:50 一般演題（口演）3
気分障害 1

司会：矢部 博興 福島県立医科大学・医学部・神経精神医学講座

1-03-1 うつ病患者 2 症例におけるミルタザピン投与後の睡眠に及ぼす急性効果：主観的および客観的指標を用いた評価

○土生川 光成¹、小城 公宏²、内村 直尚¹
¹久留米大学医学部神経精神医学講座、²医療法人清友会植田病院

1-03-2 双極性障害における潜在的危険予測因子としての気圧低下による抑うつ気分

○近藤 久勝
医療法人社団近藤医院

1-03-3 循環病と口腔内異常感症、咽喉頭異常感症

○宮坂 義男、田中 恒孝
医療法人和心会松南病院

1-03-4 うつ病の個々の症状変化に着目し、初診時の患者対応を考える

○徳永 雄一郎¹、奥村 幸祐¹、島松 まゆみ¹、原田 康平^{1,2}、後藤 玲央^{1,2}、川崎 弘詔²、松下 満彦¹
¹不知火病院精神科、²福岡大学医学部精神医学教室

1-03-5 治療に難渋し、三環系抗うつ薬で改善がみられた反復性うつ病の 1 例

○中山 知彦¹、吉田 朋広¹、渡部 真也²、中瀧 理仁¹、沼田 周助²、大森 哲郎²
¹徳島大学病院精神科神経科、²徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野

14:50~15:50 一般演題（口演）17
その他

司会：内山 真 日本大学医学部精神医学系

1-017-1 精神科領域におけるダイバーシティとワークライフマネジメントの現状：2017 年調査 -第 2 報

○安藤 久美子¹、加茂 登志子²、三原 伊保子³、池淵 恵美⁴、石井 知行⁵、梅田 寿美代⁶、
榎戸 芙佐子⁷、岸本 年史⁸、佐藤 真弓⁹、早苗 麻子¹⁰、平山 太日子¹¹、福田 正人¹²、藤井 千代¹³、
布施 泰子¹⁴、安川 節子¹⁵、渡辺 雅子¹⁶
¹聖マリアンナ医科大学病院、²若松町こころとひふのクリニック、³三原デイクエアクリニックりぼんりぼん、
⁴帝京平成大学大学院臨床心理学研究科、⁵メーブルヒル病院、⁶第二大阪警察病院精神科神経科、
⁷医療法人社団和敬会谷野呉山病院、⁸奈良県立医科大学付属病院、⁹佐藤まゆみメンタルクリニック、
¹⁰萌クリニック、¹¹観月診療所、¹²群馬大学大学院、¹³国立精神神経医療研究センター、¹⁴茨城大学保健管理センター、
¹⁵熊本ファミリーメンタルクリニック、¹⁶新宿神経クリニック

1-017-2 ミルタザピンによる高血糖が強く疑われた糖尿病合併アルコール依存症患者の一例

○森 康充、金森 敦、藤田 康平
総合心療センターひなが

1-017-3 当院長期入院中患者に発生した敗血症症例の検討

○森 康充、藤田 康平
総合心療センターひなが



- 1-017-4 抑うつエピソードへの反復経頭蓋磁気刺激療法と新規刺激条件：無作為化非盲検並行群間比較試験
○鬼頭 伸輔¹、宮路 緑²、中谷 帆乃加²、松田 勇紀¹、山崎 龍一¹、岡本 龍也²、五十嵐 良雄²
¹東京慈恵会医科大学精神医学講座、²メディカルケア虎ノ門

- 1-017-5 オートノミートレーニング（AT）の日常臨床における適用可能性について
○植木 啓文
地方独立行政法人岐阜県総合医療センター精神科

16:00～18:00 シンポジウム 27
自然災害時における統合失調症をもつ人々の SST による支援

司会：浅見 隆康 群馬大学健康支援総合センター昭和健康支援室
丹羽 真一 福島県立医科大学会津医療センター附属病院

- S27-1 災害急性期における DPAT 活動について
○五明 佐也香^{1,2}、池田 美樹²、小見 めぐみ²、吉田 航²、岸野 真由美²、福生 泰久²、河瀧 譲²、
渡 路子²
¹獨協医科大学越谷病院こころの診療科、²DPAT事務局

- S27-2 災害時における支援方法としての PFA（サイコロジカル・ファーストエイド）と SST
○岩田 和彦
地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター

- S27-3 自然災害時における統合失調症をもつ人々の SST による支援
○天笠 崇^{1,2}
¹代々木病院精神科、²京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野

- S27-4 10 のスキルと学習方法
○浅見 隆康
群馬大学健康支援総合センター昭和健康支援室

〈コーディネーター〉 浅見 隆康 群馬大学健康支援総合センター昭和健康支援室
丹羽 真一 福島県立医科大学会津医療センター附属病院

6月20日(木) F会場(センター 2F 小会場) [中会議室201]

8:30~10:30 **委員会シンポジウム 3 (ECT・rTMS 等検討委員会)**
ECTの標準化に向けて

司会: 水野 雅文 東邦大学医学部精神神経医学講座
一瀬 邦弘 特定医療法人社団聖美会多摩中央病院

CS3-1 **我が国での電気けいれん療法(ECT)の現況 -日本精神神経学会 ECT・rTMS 委員会の全国調査から-**

○鮫島 達夫¹、野田 隆政²、金野 倫子³、神出 誠一郎⁴、一瀬 邦弘⁵、橋本 学⁶、本橋 伸高⁷、澤 温⁸、和田 健⁹、水野 雅文¹⁰

¹医療法人浜江堂油山病院精神科、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
³埼玉県立大学保健医療福祉学部、⁴東京大学医学部附属病院、⁵特定医療法人社団聖美会多摩中央病院、
⁶独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、⁷武蔵野赤十字病院心療内科・精神科、
⁸社会医療法人北斗会さわ病院、⁹広島市立広島市民病院精神科、¹⁰東邦大学医療センター大森病院

CS3-2 **電気けいれん療法(ECT)の適応**

○安田 和幸¹、野田 隆政²

¹山梨大学医学部精神神経医学、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

CS3-3 **ECTの術前評価**

○奥村 正紀

大石記念病院精神科

CS3-4 **ECTの治療計画**

○青木 宣篤、嶽北 佳輝、木下 利彦

関西医科大学精神神経科学教室

CS3-5 **ECTにおけるインフォームド・コンセント**

○中村 満

医療法人社団翠会成増厚生病院精神科

〈コーディネーター〉 水野 雅文 東邦大学医学部精神神経医学講座
野田 隆政 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

10:40~12:40 **委員会シンポジウム 5 (認知症委員会)**
認知症診療における精神科医の役割 -適正な薬物療法についての再検討-

司会: 武田 雅俊 学校法人河崎学園大阪河崎リハビリテーション大学
森村 安史 一般財団法人仁明会

CS5-1 **抗認知症薬は減らせるのか**

○渕野 勝弘

医療法人社団淵野会緑ヶ丘保養園

CS5-2 **抗精神病薬は減らせるのか**

○新井 平伊

順天堂大学医学部精神医学教室

CS5-3 **向精神薬を用いた認知症治療で留意すべきこと**

○水上 勝義

筑波大学大学院人間総合科学研究科



CS5-4

過度の薬物療法に頼らない認知症診療

○三村 将

慶應義塾大学精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 武田 雅俊 学校法人河崎学園大阪河崎リハビリテーション大学

13:50~14:50

一般演題（口演）4

児童・思春期、発達障害 1

司会：尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野

1-04-1

グアンファシン徐放剤の併用によって抗精神病薬を中止できた ADHD+アスペルガー障害の 1 症例

○上谷 磨紀¹、安川 節子²

¹医療法人山田会八代更生病院、²熊本ファミリーメンタルクリニック

1-04-2

三環系抗うつ剤（TCA）により遺尿が改善した ADHD、愛着障害の 2 症例

○森岡 由紀¹、安川 節子²

¹医療法人山田会八代更生病院精神科、²熊本ファミリーメンタルクリニック

1-04-3

ダウン症候群の急激退行とアルツハイマー型認知症の鑑別を要した一例

○松本 晴香、折目 直樹、渡部 雄一郎、森川 亮、須貝 拓朗、染矢 俊幸

新潟大学医歯学総合病院精神科

1-04-4

緊張病状態を呈した自閉症スペクトラム障害に mECT が奏功した一例

○河野 ちひろ、赤川 芳樹、吉本 康高、大原 伸騎、大崎 千栄、安岡 江里奈、赤松 正規、
数井 裕光

高知大学医学部附属病院

1-04-5

母親に対する被害妄想から入院に至った発達障害者に対しオープンダイアログにて対話実践を行った一例

○安 泰善、福田 春樹、安孫子 剛、大西 征司、小倉 盛崇、山崎 一毅、坂口 新、長谷川 聖、
日比野 浩之、高屋 淳彦

医療法人財団青山会福井記念病院精神科

14:50~15:50

研修医・学部学生演題（口演）1

研修医・学部学生 1

司会：長尾 喜一郎 医療法人長尾会ねや川サナトリウム

1-K01-1

統合失調症患者に対する心理教育後の DAI-30(Drug Attitude Inventory-30)値と再入院との関係

○下島 里音¹、鈴木 雄太郎^{2,3}、國塚 拓郎²、安部 弘子²、今井 理央子⁴、吉田 喬⁵、松澤 幸治¹、
根井 仁平¹、染矢 俊幸²

¹新潟大学医歯学総合病院総合臨床研修センター、²新潟大学大学院医学系研究科精神医学分野、
³医療法人敬愛会末広橋病院、⁴新潟大学医歯学総合病院薬剤部、⁵新潟大学医歯学総合病院栄養管理部

1-K01-2

当院精神神経科リエゾン・コンサルテーションにおけるステロイド誘発性精神障害の観察研究

○高橋 優輔¹、近藤 伸介¹、八木 優子¹、緒方 優¹、山名 隼人²、熊倉 陽介¹、市橋 香代¹、
笠井 清登¹

¹東京大学大学院医学系研究科精神医学分野、²東京大学大学院医学系研究科ヘルスサービスリサーチ講座

1-K01-3

慢性期統合失調症患者への抗精神病薬 LAI の有効性

○神川 浩平、高橋 誠人、本多 将人、南 昭宏、松岡 究、山内 崇平、岸本 年史
奈良県立医科大学精神医学講座

1-K01-4

筋萎縮性側索硬化症に伴う認知症の一例

○西 佑記¹、松田 康裕¹、松岡 究¹、大塚 紀朗^{1,2}、石岡 希望¹、岸本 年史¹
¹奈良県立医科大学精神医学講座、²天理よろづ相談所病院精神神経科

1-K01-5

統合失調症患者のサルコペニアについての後ろ向き観察研究

○松村 美希^{1,2}、早川 達郎²、待鳥 詔洋³、柳内 秀勝¹、酒匂 赤人¹
¹国立国際医療研究センター国府台病院、²国立国際医療研究センター国府台病院精神科、
³国立国際医療研究センター国府台病院放射線科

16:00~18:00 **委員会シンポジウム 8 (多職種協働委員会)**
訪問診療・訪問看護における多職種協働

司会：秋山 剛 NTT東日本関東病院精神科精神神経科
米田 博 大阪医科大学医学部神経精神医学教室

CS8-1

多職種チームによるアウトリーチと精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム -旭モデルでの経験から-

○青木 勉
総合病院国保旭中央病院精神科・児童精神科

CS8-2

医療としての訪問看護

○花田 政之
黒川病院

CS8-3

地域ケアと精神科訪問看護

○辻本 直子
有限会社オラシオン

CS8-4

当事者が経験から語る精神科医療の多職種協働

○宇田川 健
認定NPO法人地域精神保健福祉機構・コンボ

〈コーディネーター〉 秋山 剛 NTT東日本関東病院精神科精神神経科



6月20日(木) G会場(センター 3F 小会場) [中会議室301B]

8:30~10:30

シンポジウム 2

よくわかるうつ病脳科学入門 -臨床医のための脳科学研究講座-

司会：松尾 幸治 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
竹林 実 熊本大学医学部附属病院神経精神科

S2-1

脳機能画像研究からみたうつ病の病態理解

○岡田 剛
広島大学大学院医歯薬保健学研究科精神神経医科学

S2-2

ストレスに強い脳と弱い脳の分子神経メカニズム

○内田 周作
京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンターSKプロジェクト

S2-3

ミクログリアを中心とした脳内炎症様反応と情動変容

○北岡 志保¹、轟 翔¹、田中 昂平²、小川 惇史²、瀬木(西田) 恵里³、成宮 周²、古屋敷 智之¹
¹神戸大学大学院医学研究科薬理学分野、²京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター、
³東京理科大学基礎工学部生物工学科

S2-4

気分障害(気分症)のゲノム研究

○池田 匡志
藤田医科大学大学医学部精神神経科学

〈コーディネーター〉 松尾 幸治 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
竹林 実 熊本大学医学部附属病院神経精神科

10:40~12:40

委員会シンポジウム 6 (性同一性障害に関する委員会)

メンタルヘルスの専門家ないし医療者は性的マイノリティについて何を知るべきか

司会：松本 洋輔 岡山大学病院ジェンダーセンター
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

CS6-1

児童思春期の性的マイノリティが疑われる児童の状態と望まれる対応

○中山 浩
川崎市こども家庭センター

CS6-2

精神科臨床場面における LGBT の患者への対応

○針間 克己
はりまメンタルクリニック

CS6-3

性的マイノリティの健康：自分らしさを模索するために

○森井 智美
昭和大学医学部精神医学講座

CS6-4

〔指定発言〕

○遠藤 まめた
教科書にLGBTを！ネットワーク

〈コーディネーター〉 松本 洋輔 岡山大学病院ジェンダーセンター
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

13:50～14:50 **一般演題（口演）5**
気分障害 2

司会：太田 敏男 さやま総合クリニック

1-05-1 **メランコリア(内因性うつ病)の症状学的特徴に関する多施設共同研究 -尺度開発と信頼性・妥当性の検討-**

○玉田 有^{1,2}、井上 猛²、関根 篤³、戸田 裕之⁴、武島 稔^{2,5}、佐々木 雅明⁶、森田 亘⁴、新留 圭将⁴、大前 晋⁶

¹虎の門病院分院精神科、²東京医科大学精神医学分野、³慧真会ケイメンタルクリニック、⁴防衛医科大学校精神科学講座、⁵十全会Jクリニック、⁶虎の門病院

1-05-2 **産後うつをいつ診断するべきか?退院時、産後2週間、産後1か月後の3点評価**

○佐藤 晋爾¹、齋 洋子²、矢口 尚子²、秋山 順子²、安部 加奈子²、沖 明典³

¹茨城県立中央病院兼任筑波大学医学医療系茨城県地域臨床教育センター精神科、²茨城県立中央病院産科、³茨城県立中央病院兼任筑波大学医学医療系茨城県地域臨床教育センター産科

1-05-3 **うつ病のメタ認知トレーニング (D-MCT)：その概念と実践方法**

○石垣 琢磨

東京大学大学院総合文化研究科

1-05-4 **制しが優勢な病像を呈し社会機能の低下が顕著な思春期～若年成人期発症のうつ病：3例の症例報告**

○兼子 幸一、朴 盛弘

鳥取大学医学部脳神経医学講座精神行動医学分野

1-05-5 **難治性うつ状態とパーソナリティ障害を併存する患者の行動特徴**

○早坂 友成^{1,2,3}、長島 泉^{1,3}、高江洲 義和^{2,3}、坪井 貴嗣^{2,3}、片桐 建志^{2,3}、野崎 和博^{2,3}、今村 弥生^{2,3}、松本 由美³、栗原 真理子^{2,3}、大江 悠樹^{2,3}、二田 未来³、渡邊 衡一郎^{2,3}

¹杏林大学保健学部作業療法学科、²杏林大学医学部精神神経科学教室、³杏林大学医学部附属病院

14:50～15:50 **研修医・学部学生演題（口演）2**
研修医・学部学生 2

司会：堀口 淳 島根大学医学部精神神経学共同研究講座

1-K02-1 **脳腫瘍術後の症候性てんかんの治療により、精神症状が改善し、化学療法が遂行できた一例**

○外山 皓喜、稻田 健、河野 敬明、林 安奈、山元 健太郎、安楽 勇太、西村 勝治
東京女子医科大学医学部

1-K02-2 **ASD が疑われた思春期のうつ病の一例**

○法山 勇樹、鳥塚 通弘、太田 豊作、大森 章代、岸本 年史
奈良県立医科大学精神医学講座

1-K02-3 **難治性うつ病に対し三環系抗うつ薬を使用した一例**

○安田 真和、盛本 翼、松岡 究、森戸 瞳、岸本 年史
奈良県立医科大学精神医学講座

1-K02-4 **ドパミントランスポーター分布密度とドパミン作動性神経ネットワークの機能的関連**

○小澤 頌¹、肥田 道彦²、守屋 洋紀²、坂寄 健²、舘野 周²、大久保 善朗²
¹日本医科大学医学部、²日本医科大学附属病院精神神経科

1-K02-5 **clozapine による薬疹を疑われ中止した後に再投与した治療抵抗性統合失調症の一例**

○坪本 大喜¹、近江 翼²、藤本 美智子²、岩瀬 真生²、阿古目 純³、中川 幸延³、池田 学²
¹大阪大学医学部附属病院精神科、²大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、³大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学皮膚科学教室



16:00～18:00 **委員会シンポジウム 9（薬事委員会）**
向精神薬と死亡リスク

司会：稲垣 中 青山学院大学
三村 将 慶應義塾大学医学部

CS9-1 精神障害と死亡リスク

○稲垣 中
青山学院大学教育人間科学部/保健管理センター

CS9-2 抗精神病薬と死亡リスク

○助川 鶴平
独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター精神科

CS9-3 統合失調症患者における抗精神病薬と身体リスク

○鈴木 雄太郎^{1,2}
¹医療法人敬愛会末広橋病院精神科、²新潟大学医歯学総合病院

CS9-4 向精神薬と自殺関連リスク：抗うつ薬を中心として

○中川 敦夫
慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門

CS9-5 向精神薬投与下での死亡リスクと法律的問題

○浅田 眞弓
丸ビルあおい法律事務所

〈コーディネーター〉 稲垣 中 青山学院大学
三村 将 慶應義塾大学医学部

6月20日(木) H会場(センター 3F 小会場) [中会議室301A]

8:30~10:30

シンポジウム 3

精神科学と神経免疫学のクロストーク

司会：神林 崇 秋田大学附属病院神経科精神科/筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構
来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

S3-1

自己免疫性脳炎と精神症状

○田中 恵子^{1,2}、大野 萌¹、筒井 幸^{3,4}、神林 崇^{3,4}

¹新潟大学脳研究所モデル動物開発分野、²福島県立医科大学多発性硬化症治療学講座、

³秋田大学附属病院神経科精神科、⁴筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

S3-2

精神科臨床を免疫学的な視点で検討することの意義について

○千葉 悠平^{1,2}、阿部 紀絵¹、服部 早紀¹、伊倉 崇浩¹、齋藤 知之¹、須田 顕¹、藤城 弘樹^{1,3}、
勝瀬 大海¹、西野 精治⁴

¹横浜市立大学医学部精神医学教室、²医療法人積愛会横浜舞岡病院、³医療法人花咲会かわさき記念病院、

⁴スタンフォード大学医学部精神医学

S3-3

精神疾患と自己抗体の基礎研究と臨床～抗 NMDA 受容体から他受容体へ

○高木 学

岡山大学病院精神科神経科

S3-4

精神科領域からみた自己免疫性辺縁系脳炎

○筒井 幸¹、馬越 秋瀬¹、奥口 悠紀¹、神林 崇¹、田中 恵子²、清水 徹男³、三島 和夫¹

¹秋田大学附属病院神経科精神科、²新潟大学脳研究所、³秋田県精神保健福祉センター

〈コーディネーター〉 神林 崇 秋田大学附属病院神経科精神科/筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構
来住 由樹 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

10:40~12:40

シンポジウム 15

自閉スペクトラム症の本質に迫る：感覚・運動機能という新たな視点から

司会：今村 明 長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部
小坂 浩隆 福井大学医学部精神医学

S15-1

自閉スペクトラム症の視覚的選好と疼痛感覚について

○小坂 浩隆

福井大学医学部精神医学

S15-2

嗅覚特性からみえる自閉スペクトラム症者の本質

○熊崎 博一^{1,2}

¹金沢大学子どものこころの発達研究センター、²国立研究開発法人国立精神神経医療研究センター

S15-3

身体性から自閉スペクトラム症を捉え直す～発達性協調運動症という視点～

○中井 昭夫

武庫川女子大学大学院教育研究所臨床教育学研究科子ども発達科学研究センター

S15-4

自閉スペクトラム症にみられる協調運動障害の特徴

○東恩納 拓也^{1,2}、岩永 竜一郎¹

¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、²みさかえの園むつみの家

S15-5

生物心理社会(BPS)モデルによる自閉スペクトラム症の感覚の問題の検討

○今村 明

長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部



S15-6

〔指定発言〕

○内山 登紀夫

大正大学心理社会学部臨床心理学科

〈コーディネーター〉

今村 明

長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部

小坂 浩隆

福井大学医学部精神医学

熊崎 博一

金沢大学子どものこころの発達研究センター

13:50~14:50

一般演題（口演）6

気分障害 3

司会：西川 徹

昭和大学医学部薬理学講座・京都府立大学精神機能病態学

1-06-1

双極性感情障害の長期罹患中に、前頭側頭型認知症と高齢初発てんかんを発症した 2 症例

○田辺 瑞穂¹、長谷川 直哉²、渡部 裕美子³、和知 学¹

¹新潟信愛病院精神科、²国立病院機構西新潟中央病院てんかん科、³信楽園病院脳神経内科

1-06-2

重度うつ病患者の入院治療におけるポジティブサイコロジー

○島松 まゆみ¹、後藤 玲央²、松下 満彦^{1,2}、徳永 雄一郎^{1,2}

¹医療法人社団新光会不知火病院、²福岡大学医学部精神医学教室

1-06-3

治療抵抗症うつ病患者における終夜睡眠ポリグラフ検査所見と臨床指標及び向精神薬との関連

○神田 優太¹、高江洲 義和¹、坪井 貴嗣¹、野崎 和博¹、今村 弥生¹、中島 亨²、渡邊 衡一郎¹

¹杏林大学精神神経学教室、²杏林大学保健学部臨床心理学科

1-06-4

抗うつ薬未服用患者を対象とした乱数生成課題時の自律神経応答を用いた年代別うつ病スクリーニング法の開発

○林原 史明¹、松井 岳巳¹、榛葉 俊一^{1,2}、孫 光鎬^{1,3}、仮屋 暢聡⁴

¹首都大学東京システムデザイン学部、²静岡済生会総合病院、³電気通信大学、⁴マインズタワーメンタルクリニック

1-06-5

強迫を腑分けする

○小林 聡幸

自治医科大学精神医学講座

14:50~15:50

研修医・学部学生演題（口演）3

研修医・学部学生 3

司会：山本 賢司

東海大学医学部専門診療学系精神科学

1-K03-1

鑑別と診断に苦慮した遷延するアルコール離脱せん妄の一例

○長妻 渉、新名 尚史、塚本 亮、木村 敦、蓬萊 政、大塚 郁夫、青山 慎介、菱本 明豊、曾良 一郎

神戸大学医学部附属病院

1-K03-2

2 型糖尿病を合併した抑うつ患者の食行動と血糖コントロールに関する後方視研究

○木下 慶一郎²、早川 達郎¹、柳内 秀勝²、酒匂 赤人²

¹国立国際医療研究センター国府台病院精神科、²国立国際医療研究センター国府台病院総合内科

1-K03-3

下剤濫用を伴う神経性やせ症に肝線維化・間質性腎炎を合併した一例

○栗原 優^{1,4}、富田 吉敏³、河合 啓介²、田村 奈穂²、細川 真理子²、村上 匡史²

¹国立国際医療研究センター国府台病院、²国立国際医療研究センター国府台病院心療内科、

³国立精神・神経医療研究センター病院総合内科部心療内科、⁴東京医科歯科大学医学部附属病院精神科

1-K03-4

亜昏迷状態を呈した双極性感情障害にレビー小体病の合併を認めた一例

○平井 靖明、松岡 究、山口 泰成、隅田 江美、中島 史裕、山内 崇平、岸本 年史
奈良県立医科大学精神医学講座

16:00～18:00

シンポジウム 28

身体症状症および関連症群の治療導入はどうすべきか？ -最前線の臨床医による工夫-

司会：宮岡 等
明智 龍男

北里大学医学部精神科学
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

S28-1

身体症状症および関連症群の積極的診断と適切な連携 -総合診療の立場から-

○上田 剛士
洛和会丸太町病院救急総合診療科

S28-2

身体症状症および関連症群における精神科医の役割の重要性と初期治療

○富永 敏行
京都府立医科大学大学院医学系研究科精神機能病態学

S28-3

身体症状症および関連症群の治療の円滑な導入および成功への戦略 -薬物療法の立場から-

○名越 泰秀
京都第一赤十字病院精神科（心療内科）

S28-4

身体症状症および関連症群の治療導入 -認知行動療法の立場から-

○近藤 真前
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

〈コーディネーター〉 名越 泰秀 京都第一赤十字病院精神科（心療内科）
富永 敏行 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学



6月20日(木) I会場 (センター 3F 小会場) [中会議室302B]

8:30~10:30

シンポジウム 4

新精神科専門医制度における内科教育の実践

司会：清水 勇雄 医療法人恵風会高岡病院
俊野 尚彦 医療法人財団光明会明石こころのホスピタル

S4-1

新医師臨床研修制度を通して見えてくる精神科医の意識変化

○澤頭 亮¹、佐藤 明⁵、大矢 希⁴、中神 由香子³、堀之内 徹²

¹北海道大学医学院・医学研究院医学部医学科神経生理学教室、

²北海道大学大学院医学院神経病態学講座精神医学教室、³京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座（精神医学）、

⁴京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、⁵京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野

S4-2

リエゾンチームにおいて精神科医に期待すること

○杉野 幸恵

地方独立行政法人りんくう総合医療センター

S4-3

精神科で内科教育を実践するにはどうすればよいのか

○中島 亮太郎

特定医療法人恵風会高岡病院精神科

S4-4

精神科専門医制度における内科教育の実践：救急医の立場から

○石田 琢人

東京都立墨東病院救命救急センター

S4-5

新精神科専門医制度における内科教育の実践ー持続可能な教育：Clinical problem-solving を用いてー

○清水 勇雄

医療法人恵風会高岡病院精神科

〈コーディネーター〉 清水 勇雄 医療法人恵風会高岡病院
俊野 尚彦 医療法人財団光明会明石こころのホスピタル
中島 亮太郎 医療法人恵風会高岡病院

10:40~12:40

シンポジウム 16

症状把握を掘り下げる

司会：内海 健 東京藝術大学保健管理センター
古茶 大樹 聖マリアンナ医科大学病院

S16-1

意識障害の精神病理

○兼本 浩祐

愛知医科大学精神神経科

S16-2

症状の生まれる場所

○藤山 直樹

上智大学総合人間科学部心理学科

S16-3

了解と病態把握

○熊崎 努

東京農工大学保健管理センター

〈コーディネーター〉 内海 健 東京藝術大学保健管理センター
古茶 大樹 聖マリアンナ医科大学病院

13:50～14:50 **一般演題（口演）7**
脳器質性・症状性精神障害 1

司会：細田 眞司 細田クリニック

1-07-1 **過換気症候群として治療されていたもやもや病の一例**

○樋口 悠子¹、高橋 努¹、木戸 幹雄¹、黒田 敏²、鈴木 道雄¹

¹富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、²富山大学大学院医学薬学研究部脳神経外科学講座

1-07-2 **人物認知の障害を初期症状として後部脳の機能低下が顕著な Creutzfeldt-Jakob 病の 1 例**

○大井 博貴^{1,2}、船山 道隆^{1,2}、三村 悠^{1,2}、高田 武人^{1,2}、三村 将²

¹足利赤十字病院神経精神科、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

1-07-3 **前頭葉症状を呈した脳梁菲薄化を伴うクッシング症候群の一例**

○武藤 悠平、上野 幹二、小坂 浩隆、大森 一郎

福井大学医学部附属病院神経科精神科

1-07-4 **多彩な精神症状を呈した臍帯血移植後 HHV6 脳炎の一例**

○福島 春子¹、鶴谷 茂²、宮井 宏之¹、大谷 恭平¹、松石 邦隆¹

¹神戸市立医療センター中央市民病院精神・精神科、²神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部

1-07-5 **感冒症状後にチック症状と強迫症状の出現増悪を認め、PANDAS が疑われた 1 例**

○青井 駿^{1,2}、梅原 英裕¹、郷司 彩^{1,3}、東田 好広^{1,3}、高橋 幸利⁴、渡部 真也⁵、中瀧 理仁^{1,4}、
沼田 周助^{4,5}、大森 哲郎⁵

¹徳島大学病院精神科神経科、²徳島県立中央病院、³徳島大学病院小児科、⁴静岡てんかん・神経医療センター、
⁵徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野

14:50～15:50 **一般演題（口演）18**
脳器質性・症状性精神障害 3

司会：山田 尚登 社会医療法人杏嶺会上林記念病院

1-018-1 **せん妄におけるスボレキサントの有用性**

○沖野 和磨¹、鈴木 洋久^{1,2}、富岡 大^{1,2}、山田 浩樹^{1,2}、野崎 伸次^{1,2}、佐藤 裕一¹、岩波 明²、
稲本 淳子^{1,2}

¹昭和大学横浜市北部病院精神科、²昭和大学医学部精神医学講座

1-018-2 **精神症状に修正型電気けいれん療法が著効した橋本脳症の 1 症例**

○松井 宏樹¹、田端 一基¹、米田 誠²、中山 貴裕¹、昔農 雄太¹、飯田 愛弓¹、森川 文淑¹、
鈴木 太郎¹、直江 綾子¹、猪俣 光孝¹、直江 寿一郎¹

¹医療法人社団旭川圭泉会病院、²福井県立大学看護福祉学部看護学科

1-018-3 **片頭痛に関連して幻覚妄想状態を呈した症例**

○井上 悟

医療法人静和会浅井病院精神科

1-018-4 **筋萎縮性側索硬化化症診断後に生じた精神病性うつ病に対し修正電気痙攣療法が奏功した一例**

○宮田 潮¹、射場 亜希子^{1,2}、曾我 洋二¹、寺澤 英夫²、土居 正典¹、田中 究¹

¹兵庫県立ひょうごこころの医療センター精神科、²兵庫県立姫路循環器病センター

1-018-5 **向精神薬の投与のみで改善した NPSLE の 2 症例の病態についての考察**

○中村 啓信、田畑 光一、田中 修、谷 顕、石倉 菜子

青梅市立総合病院



16:00～18:00

シンポジウム 29

てんかんと知的障害の併存症例に対する精神科医の工夫と取り組み

司会：兼本 浩祐 愛知医科大学精神神経科
辻 富基美 和歌山県立医科大学医学部神経精神科

S29-1

知的障害を併存するてんかんの診療

○西田 拓司
静岡てんかん・神経医療センター精神科

S29-2

知的障害を併存する心因性非てんかん性発作（PNES）の診療

○谷口 豪¹、藤岡 真生¹、岡村 由美子¹、矢野 健一²
¹東京大学医学部附属病院精神神経科、²東京大学医学部附属病院リハビリテーション部

S29-3

てんかんと知的障害を併存する患者の行動障害の診療

○川崎 淳
川崎医院

S29-4

知的障害とてんかンを併存する患者の小児科と精神科との連携上の課題

○栗原 まな
神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科

〈コーディネーター〉 辻 富基美 和歌山県立医科大学医学部神経精神科
兼本 浩祐 愛知医科大学精神神経科

6月20日(木) J会場 (センター 3F 小会場) [中会議室302A]

8:30~10:30 シンポジウム 5 双極性障害の予後を悪化させる要因と対応

司会：神庭 重信 九州大学
秋山 剛 NTT東日本関東病院

S5-1 双極性障害と攻撃性

○寺尾 岳
大分大学医学部精神神経医学講座

S5-2 職域不適応の発生プロセスとリワーク支援の意義

○秋山 剛
NTT東日本関東病院精神科精神神経科

S5-3 双極性障害に対する抗うつ薬使用の功罪

○田中 輝明
KKR札幌医療センター精神科

S5-4 不十分量・不十分期間の気分安定薬・非定型抗精神病薬の使用

○山田 和男
東北医科薬科大学病院精神科

S5-5 不適切な患者対応～患者会の意見より

○鈴木 映二
東北医科薬科大学医学部精神科学教室

〈コーディネーター〉 山田 和男 東北医科薬科大学病院精神科
鈴木 映二 東北医科薬科大学病院精神科

10:40~12:40 シンポジウム 17 精神疾患の臨床病理検討(CPC)から疾病を理解する精神科ブレインバンクへの期待(その3)

司会：入谷 修司 名古屋大学医学部精神科
池田 研二 香川大学医学部附属病院

S17-1 統合失調症における臨床病理検討 (clinicopathological conference ; CPC) の重要性

○鳥居 洋太
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

S17-2 摂食障害の病態解明に向けた神経病理学的検討

○河上 緒^{1,2,3}
¹東京都健康長寿医療センター研究所、²東京都医学総合研究所、³東京都立松沢病院

S17-3 気分障害の臨床病理検討

○藤城 弘樹
かわさき記念病院精神科

S17-4 精神症状から始まる変性疾患の臨床病理検討 (CPC). AGD の疾患概念の確立から治療まで

○池田 研二
香川大学医学部炎症病理学



S17-5 精神疾患でなく精神神経疾患としてのCPC –精神科医に役立つCPC–

○吉田 眞理
愛知医科大学加齢医科学研究所

S17-6 【指定発言】

○新井 哲明
筑波大学附属病院

〈コーディネーター〉 入谷 修司 名古屋大学医学部精神科
池田 研二 香川大学医学部附属病院

13:50～14:50 一般演題（口演）8
脳器質性・症状性精神障害 2

司会：宮岡 等 北里大学医学部精神科学

1-08-1 高次脳機能障害を有する脳損傷患者の激しい怒りの爆発(anger burst)に対して認知行動療法が奏効した2症例

○宗 未来^{1,2}、菊地 俊暁²、堀田 章悟²、山市 大輔²、藤澤 大介²、佐渡 充洋²、斎藤 文恵²、
山縣 文²、三村 将²

¹東京歯科大学市川総合病院精神科、²慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

1-08-2 精神疾患を疑われ当科紹介となった辺縁系脳炎7例についての検討

○齋藤 実奈子、菊池 孝、岡崎 伸郎
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター精神科

1-08-3 VMAT2 特異的阻害薬により抑うつ症状を呈したハンチントン病の1例

○笠毛 溪¹、富永 佳吾¹、塩川 奈理¹、林 岳宏¹、石塚 貴周¹、山田 康一郎²、寿 幸治³、
中村 雅之¹、佐野 輝¹

¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野、²やまだメンタルクリニック、³公益財団法人慈愛会谷山病院

1-08-4 精神病症状を伴うパーキンソン病患者に対する電気けいれん療法の有用性

○板垣 圭、石川 亮、山下 理英子、増田 慶一、和田 健
広島市民病院精神科

1-08-5 非パーキンソン症状への精神科介入によって適切な病態理解と治療介入につながったパーキンソン症候群の一例

○豊田 早織、田村 趙紘、治徳 大介、車地 暁生
東京医科歯科大学医学部附属病院

14:50～15:50 一般演題（口演）19
気分障害 5

司会：中村 純 社会医療法人北九州古賀病院

1-019-1 悪性緊張病を呈した双極性障害の1例

○大和田 環、佐々木 はづき、近藤 年隆、長谷川 千絵、岡安 寛明、下田 和孝
獨協医科大学病院精神神経科

1-019-2 大うつ病性障害と双極性障害の鑑別における TEMPS-A 短縮版の有用性

○森下 千尋¹、成瀬 麻夕¹、亀山 梨絵²、戸田 裕之³、久住 一郎⁴、井上 猛^{1,4}

¹東京医科大学精神医学分野、²滝川市立病院精神神経科、³防衛医科大学校精神科学講座、⁴北海道大学大学院医学研究院精神医学教室

1-019-3

鑑別に苦慮した高齢発症の双極性障害の1例

○北林 佳晃、藤平 明広、岡安 寛明、下田 和孝
獨協医科大学精神神経医学講座

1-019-4

双極性障害における内服自己中断の問題 -家族間葛藤や生活習慣など複数の要因が関係していた症例を通じて-

○松田 有史、吉村 篤、藤井 勇佑、眞田 陸、栗山 健一
滋賀医科大学医学部付属病院精神医学講座

1-019-5

父子関係への家族介入後、急激なうつ病の改善と宗教観の変化を示したキリスト教牧師の一例

○小川 晴香、白石 直、沢田 光代、石川 貴康、真川 明将、関口 文乃、明智 龍男
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

16:00~18:00

シンポジウム 30

過眠は神経症状か、精神症状か？

司会：栗山 健一
北島 剛司

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部
藤田医科大学医学部精神神経科学講座

S30-1

ねむけ・過眠の精神生理学的特徴

○吉池 卓也
滋賀医科大学精神医学講座

S30-2

睡眠-覚醒障害における過眠の位置づけ～ナルコレプシーにおける過眠

○神林 崇^{1,2}、今西 彩¹、近藤 英明²、大森 佑貴¹、吉沢 和久¹、筒井 幸¹、小野 太輔¹、鈴木 りほ¹、
成田 恵理子¹、高橋 淳¹
¹秋田大学医学部附属病院精神科、²筑波大学睡眠研究機構

S30-3

気分障害における過眠

○鈴木 正泰、内山 真
日本大学医学部精神医学系

S30-4

発達障害における過眠

○北島 剛司
藤田医科大学医学部精神神経科学講座

〈コーディネーター〉 栗山 健一 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部
北島 剛司 藤田医科大学医学部精神神経科学講座



6月20日(木) K会場 (センター 3F 中会場) [小会議室303+304]

8:30~10:30

シンポジウム 6

精神病理学の古典を再読する：DSM 精神医学の補完を目指して

司会：加藤 敏
大嶋 明彦

医療法人心救会小山富士見台病院/自治医科大学精神医学教室
佐野厚生総合病院精神神経科/慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

S6-1

急性期と慢性期を区別して構想するグリージナーの治療的視点

○加藤 敏

医療法人心救会小山富士見台病院/自治医科大学精神医学教室

S6-2

精神医学における疾患とは何か -クルト・シュナイダーに学ぶ臨床精神病理学

○古茶 大樹

聖マリアンナ医科大学神経精神科

S6-3

うつ病患者の気質・発病状況・発症・症状形成を包括的に説明するテレンバッハ

○阿部 隆明

自治医科大学とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科

S6-4

偉大な多元主義者としての内村祐之

○大嶋 明彦^{1,2}

¹佐野厚生総合病院精神神経科、²慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 加藤 敏
大嶋 明彦

医療法人心救会小山富士見台病院/自治医科大学精神医学教室
佐野厚生総合病院精神神経科/慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

10:40~12:40

シンポジウム 18

ICD-11 に収載された複雑性 PTSD の理解と治療 -トラウマケア技法の実際-

司会：松本 俊彦
新谷 宏伸

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
本庄児玉病院/USPT研究会

S18-1

複雑性 PTSD からの回復とホログラフィートーク

○嶺 輝子

アースシー・ヒーリング・セラピー

S18-2

映像で見る USPT の実際 (精神科外来編) -第二次構造的解離としての複雑性 PTSD-

○新谷 宏伸^{1,2}

¹本庄児玉病院、²USPT研究会

S18-3

複雑性 PTSD に対するスキーマ療法の臨床実践

○伊藤 絵美

洗足ストレスコーピング・サポートオフィス

S18-4

注視によりトラウマへの焦点化を強め、根こそぎに処理を行う心理療法「ブレインスポッティング」

○鈴木 孝信^{1,2}

¹赤坂クリニック、²アダムズ州立大学

S18-5

【指定発言】

○植村 太郎

独立行政法人労働者健康安全機構神戸労災病院

〈コーディネーター〉 新谷 宏伸
黒木 俊秀
松本 俊彦

本庄児玉病院/USPT研究会
九州大学大学院人間環境学研究院臨床心理学講座
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

13:50～14:50 **一般演題（口演）9**
気分障害 4

司会：森 隆夫 あいせい紀年病院

1-09-1 **ストレスケア病棟でのうつ病治療と自殺防止効果について**

○栗田 輝久¹、佐藤 悟朗³、松下 満彦²、徳永 雄一郎²

¹医療法人社団桜珠会可也病院、²医療法人社団新光会不知火病院、³医療法人社団更生会草津病院

1-09-2 **亜鉛補充療法後に抑うつ症状の改善をみた亜鉛欠乏を伴う産後うつ病の一例**

○平野 ゆかり

真野みずほ病院診療部

1-09-3 **L-dopa 投与により Anhedonia が著明に改善した Parkinson 病の一例**

○天木 雄大¹、松田 勇紀¹、繁田 雅弘¹、小曾根 基裕²

¹東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科、²久留米大学医学部神経精神医学講座

1-09-4 **入院治療の意義**

○松下 満彦^{1,2}、徳永 雄一郎¹、奥村 幸祐¹、高田 和秀^{1,2}、島松 まゆみ¹、小柳 綾¹、原田 康平^{1,2}、
後藤 玲央^{1,2}、川崎 弘詔²

¹医療法人社団新光会不知火病院、²福岡大学病院

1-09-5 **うつ病患者における非言語性情動音声を用いた感情評価に関する予備的研究**

○肥田 道彦¹、長峰 愛²、川良 徳広²、大久保 善朗¹

¹日本医科大学付属病院精神神経科、²文京学院大学

14:50～15:50 **一般演題（口演）20**
統合失調症 4

司会：西村 良二 福岡大学医学部総合医学研究センター

1-020-1 **アリピプラゾール持効性注射剤と多職種による関わりで治療継続が可能となった妄想性障害の 1 例**

○金 悠七、斎藤 武、池水 結輝、小吉 伸治、山本 千尋、焼田 まどか、町澤 暁、高瀬 正幸、
木村 敦史、石川 雅智、伊豫 雅臣

千葉大学医学部付属病院精神神経科

1-020-2 **児童期統合失調症の急性期において、自発描画が診断・治療の一助となった一例**

○岡井 公志¹、渡邊 さつき¹、谷木 夏妃¹、高杉 綾香¹、今泉 照明¹、倉持 泉¹、平田 吾一¹、
松岡 孝祐^{1,2}、横山 富士男¹、松尾 幸治¹、太田 敏夫¹

¹埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科、²埼玉医科大学国際医療センター精神科救命救急科

1-020-3 **ARMS に対し中等量の抗精神病薬投与にて改善を得た一例**

○二井矢 峻、田村 趙紘、塩江 遼太、治徳 大介、車地 暁生、篠竹 利和、若山 由賀里

東京医科歯科大学医学部附属病院精神科

1-020-4 **クロザピン使用者における耐糖能異常 -本邦全例調査の結果より-**

○宮内 美貴子¹、松井 健太郎¹、稲田 健¹、河野 仁彦²、押淵 英弘¹、石郷岡 純³、西村 勝治¹

¹東京女子医科大学医学部精神医学講座、²医療法人一誠会都城新生病院、³CNS薬理研究所



16:00～18:00 **シンポジウム 31**
医療倫理コンサルテーションと意思決定支援：リエゾン精神医学の新たな課題

司会：西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座
中嶋 義文 社会福祉法人三井記念病院

S31-1 臓器移植における意思決定支援

○木村 宏之
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

S31-2 周産期医療における倫理的な問題－精神科医の役割－

○竹内 崇
東京医科歯科大学医学部附属病院精神科

S31-3 がんにおける意思決定支援

○小川 朝生
国立がん研究センター東病院先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野

S31-4 維持血液透析の開始と継続に関する精神科コンサルテーション

○大内 雄太¹、藤倉 恵美²
¹庄子内科クリニック精神科・心療内科、²東北大学病院血液浄化療法部

〈コーディネーター〉 西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座
中嶋 義文 社会福祉法人三井記念病院

6月20日(木) L会場 (センター 3F 中会場) [小会議室306+307]

8:30~10:30

委員会シンポジウム 4 (精神保健に関する委員会)

育てと育ちの精神医学～困難な育児・逆境における育ちの支え II～

司会：吉益 光一 和歌山県立医科大学医学部衛生学
笠原 麻里 医療法人財団青溪会駒木野病院

CS4-1

医療・保健・福祉が連携した周産期の親子支援のあり方について

○立花 良之¹、小泉 典章²

¹国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科、²長野県精神保健福祉センター

CS4-2

東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断的支援より (第2報)

○八木 淳子

岩手医科大学医学部神経精神科学講座

CS4-3

児童精神科臨床における養育支援の取り組み

○細金 奈奈

恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

CS4-4

思春期・青年期における基本的価値観に関する被影響体験と心の健康：日本の大学における調査研究

○阪上 優

京都大学健康科学センター

CS4-5

〔指定発言〕

○加茂 登志子

若松町こころとひふのクリニック

〈コーディネーター〉 加茂 登志子 若松町こころとひふのクリニック
笠原 麻里 医療法人財団青溪会駒木野病院

10:40~12:40

シンポジウム 19

うつ病リワークプログラムの始め方、続け方～クリニック、病院、大学、and etc

司会：大橋 昌資 医療法人啓夏会響ストレスケア～こころとからだの診療所
柴田 信義 たてばやし心療クリニック

S19-1

地方都市のうつ病休職者におけるリワークプログラムの意義

○高橋 誠

まことクリニック

S19-2

大学病院におけるリワークプログラム

○田中 佐千恵¹、岩井 龍之介²、中野 未来²、犬飼 清香³、寺澤 美穂⁴、濱本 緑⁵、北澤 加純⁵、
北村 由佳⁴、小林 正義¹、杉山 暢宏^{1,5}、鷺塚 伸介⁵

¹信州大学医学部保健学科、²信州大学医学部附属病院リハビリテーション部、

³信州大学医学部附属病院医療福祉支援センター、⁴信州大学医学部附属病院薬剤部、⁵信州大学医学部精神医学教室

S19-3

リワークプログラムの安定の為の課題

○後藤 智行

柏駅前なかやまメンタルクリニック

S19-4

地方都市の単科病院におけるリワーク

○後藤 剛

社会医療法人二本松会山形さくら町病院医局



S19-5

〔指定発言〕

○鷺塚 伸介
信州大学医学部精神医学教室

S19-6

〔指定発言〕

○岡 敬
医療法人十全会十全病院

〈コーディネーター〉 大橋 昌資 医療法人啓夏会響ストレスケア~こころとからだの診療所
岡 敬 医療法人十全会十全病院

13:50~14:50 一般演題（口演）10
産業精神医学

司会：佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル

1-010-1

医学生・研修医の抑うつとバーンアウト -卒前卒後の縦断的調査-

○三好 良英¹、松尾 寿栄¹、小松 弘幸²、石田 康¹
¹宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、²宮崎大学医学部医療人育成支援センター

1-010-2

リワークデイケアとフードバンクのコラボレーション

○三好 修、高見 裕也、穴井 卓杜、廣瀬 亜耶、姫野 美奈、大倉 千賀子
こころの先生クリニック

1-010-3

福島県で就労している行政職員のメンタルヘルスの経年変化

○竹林 唯^{1,2}、前田 正治^{1,2}、瀬藤 乃理子^{1,2}、伊藤 亜希子^{1,2}、桃井 真帆^{1,2}、後藤 紗織^{1,2}
¹福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座、²福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

1-010-4

メンタルヘルス不調者の復職から3年間の就業継続率 -休業回数の影響-

○三嶋 正芳¹、足立 浩祥²、三嶋 千恵子³、清水 政彦¹、中島 淑貴¹
¹ダイハツ工業保健センター、²大阪大学キャンパスライフ健康支援センター、³市立伊丹病院

14:50~15:50 一般演題（口演）21
統合失調症 5

司会：池淵 恵美 帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

1-021-1

精神科病院でのオープンダイアログの試み -クライシスから3ヶ月で就労へ至った一例-

○西 泰孝、村上 純一、石田 展弥
琵琶湖病院精神科

1-021-2

松沢病院を受診する強迫症患者の特徴 特に併存症、発症契機や洞察に関する考察

○岡村 泰¹、杉本 達哉³、川瀬 愛²、梅田 夕奈²、根路銘 要太²、福田 陽明²、松本 光輔²、
針間 博彦²、齋藤 正彦²、平安 良雄⁴
¹東京都立松沢病院/横浜市立大学医学部精神医学教室、²東京都立松沢病院、³静岡県立静岡がんセンター、
⁴医療法人へいあん平安病院

1-021-3

高血圧が誘因であることが示唆された反復性の緊張病の1例

○石井 沙安也、岡安 寛明、佐々木 はづき、藤井 久彌子、下田 和孝
獨協医科大学病院精神神経医学講座

1-021-4

担当医の退院前訪問により効果的な支援体制が構築できた7症例

○稲熊 徳也、崎川 典子、正木 秀和、黒田 治、齋藤 正彦
東京都立松沢病院精神科

1-021-5

アリピプラゾールで急性増悪したが m-ECT 後にブレクスピプラゾールで安定したドパミン過感受性精神病の一例

○早津 龍之介、小林 玲美子、阿久津 実彩、大木 望、大石 賢吾、大岩 宜博、小田 靖典、小松 英樹、佐々木 剛、伊豫 雅臣
千葉大学医学部附属病院精神神経科

16:00～18:00 **委員会シンポジウム 10（災害支援委員会）**

近年の自然災害から学ぶ精神保健医療支援の実際 -身近な地域での災害発生に備えて-

司会：福島 昇 新潟市こころの健康センター
矢田部 裕介 熊本こころのケアセンター

CS10-1

北海道胆振東部地震における災害時精神保健医療活動

○岡崎 大介
北海道立精神保健福祉センター

CS10-2

岡山県の豪雨災害における DPAT 活動について

○野口 正行、岡崎 翼
岡山県精神保健福祉センター

CS10-3

熊本地震における受援を経験して～保健師の立場から～

○日高 梨沙
御船町役場健康づくり支援課

CS10-4

東日本大震災を通して考える災害での支援と受援：宮城での経験から

○松本 和紀^{1,2,3}、林 みづ穂⁴、小原 聡子⁵、福地 成³、原 敬造^{6,7}

¹東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、²東北大学大学院医学系研究科予防精神医学寄附講座、³みやぎ心のケアセンター、⁴仙台市精神保健福祉総合センター、⁵宮城県精神保健福祉センター、⁶原クリニック、⁷震災こころのケア・ネットワークみやぎ

〈コーディネーター〉 福島 昇 新潟市こころの健康センター
松原 六郎 公益財団法人松原病院



6月20日(木) M会場 (センター 4F 中会場) [国際会議室]

8:30～10:30

シンポジウム 7

精神科救急・急性期医療と地域包括ケア～厚生労働科学研究の成果～

司会：澤 温

社会医療法人北斗会さわ病院

S7-1

精神科救急及び急性期医療サービスにおける医療判断やプロセスの標準化と質の向上に関する研究

○杉山 直也^{1,2,3}

¹公益財団法人復康会沼津中央病院、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、

³一般社団法人日本精神科救急学会

S7-2

精神科救急及び急性期医療に関する実態と課題に関する研究

○平田 豊明^{1,2,3}

¹千葉県精神科医療センター、²医療法人学而会木村病院、³一般社団法人日本精神科救急学会

S7-3

地域包括ケアにおけるプレ・ホスピタルケア

○塚本 哲司^{1,2}

¹埼玉県立精神医療センター、²一般社団法人日本精神科救急学会

S7-4

【指定発言】

○戸部 美起

厚生労働省

〈コーディネーター〉 杉山 直也

公益財団法人復康会沼津中央病院/国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

藤井 千代

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

10:40～12:40

シンポジウム 20

てんかんと精神医療の新たな連携の形 (psycho-epileptology)

司会：山田 了士

岡山大学大学院精神神経病態学教室

和田 健

広島市立広島市民病院精神科

S20-1

てんかん外科と精神医療の連携

○西田 拓司

静岡てんかん・神経医療センター精神科

S20-2

小児科と精神科の医療連携：てんかんのトランジション

○谷口 豪¹、佐藤 敦志²、藤岡 真生¹、岡村 由美子¹

¹東京大学医学部附属病院精神神経科、²東京大学医学部附属病院小児科

S20-3

精神科医療からてんかん医療へ～てんかんと脳波を知っておく重要性～

○渡邊 さつき

埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

S20-4

精神科病院とてんかん専門クリニックの連携および現状の課題

○天神 雄也

医療法人社団翠会成増厚生病院精神科医局

〈コーディネーター〉 山田 了士

岡山大学大学院精神神経病態学教室

渡辺 雅子

新宿神経クリニック

谷口 豪

東京大学医学部附属病院

13:50～14:50 **一般演題（口演）11**
神経症

司会：久住 一郎 北海道大学大学院医学研究院精神医学教室

1-011-1 **憑依障害を伴った解離性同一性障害の一例**

○小栗 康平
早稲田通り心のクリニック

1-011-2 **複合的なアプローチで効果を認めた高齢の身体症状症の一例**

○阪上 和美¹、関口 剛¹、松本 英夫^{1,2}
¹医療法人丹沢病院、²東海大学医学部付属病院精神科

1-011-3 **症状の素因子から迫る ASD 及びその他疾患の解釈**

○木村 潤
木村ネットカウンセリング

1-011-4 **ためこみ症に対して入院行動療法が奏功した一例**

○溝部 太郎、中尾 智博、山田 聖、神庭 重信
九州大学病院精神科神経科

1-011-5 **暴露療法的アプローチにより内服が可能になった身体症状症の一例**

○坪内 浩一、安部 賢郎、吉田 卓、清水 秀明、森 崇明、上野 修一
愛媛大学医学部附属病院

14:50～15:50 **一般演題（口演）22**
脳器質性・症状性精神障害/その他

司会：根本 隆洋 東邦大学医学部精神神経医学講座

1-022-1 **ハンチントン病による精神症状に対しブロナンセリンが有効であった一例**

○嶋田 修一郎、丸山 直樹、山田 治、渡部 和成
医療法人崇徳会田宮病院

1-022-2 **幻覚妄想を伴う抑うつ症状を呈するパーキンソン病の治療について -電気けいれん療法が奏功した症例を通じて-**

○山本 佳樹¹、吉村 篤¹、藤井 勇佑²、眞田 陸²、北村 彰浩³、川合 寛道³、栗山 健一^{1,2}
¹滋賀医科大学医学部附属病院精神科、²滋賀医科大学精神医学講座、³滋賀医科大学医学部附属病院脳神経内科

1-022-3 **思春期のうつ病による心因性腹痛とみなされていた前皮神経絞扼症候群の一例**

○横山 宜史¹、白木 亮祐¹、藤平 明広¹、岡安 寛明¹、渡邊 崇¹、椎木 麻姫子²、任 理宏²、志水 太郎²、下田 和孝¹
¹獨協医科大学病院精神神経医学講座、²獨協医科大学病院総合診療医学講座

1-022-4 **「うつ」の進化精神医学**

○高野 覚
医療法人社団明雄会本庄児玉病院精神科

1-022-5 **Microbleeds を伴った Adult-onset leukoencephalopathy with axonal spheroids and pigmented glia の一例**

○石川 亮¹、山下 理英子¹、増田 慶一¹、板垣 圭¹、和田 健¹、池内 健^{1,2}
¹広島市立広島市民病院精神科、²新潟大学医歯学総合病院



16:00～18:00

委員会シンポジウム 11 (国際委員会)

🔊 同時通訳(E→J)

Fellowship Award program の新たな展開 –社会的ひきこもりに関する国際共同研究

司会：加藤 隆弘
堀之内 徹

九州大学大学院医学研究院精神病態医学

北海道大学大学院医学院神経病態学講座精神医学教室/認定NPO日本若手精神科医の会

CS11-1 International symposium 後の国際共同研究への取り組み twitter hikikomori project

○河岸 嶺将¹、堀之内 徹²

¹千葉県精神科医療センター精神科、²北海道大学大学院医学院神経病態学講座精神医学教室

CS11-2 Hikikomori in other countries : evidence from an international case vignette survey

○Marcus P. J. Tan

South London and Maudsley NHS Foundation Trust

CS11-3 Understanding social withdrawal behaviour : cultural and demographic differences

○Óscar Soto Angona

Department of Psychiatry, Vall d'Hebrn University Hospital

CS11-4 Assessing the global extent of the hikikomori phenomenon in social media : a mixed Twitter analysis

○Víctor Pereira-Sánchez

Clínica Universidad de Navarra (CUN). Departamento de Psiquiatría y Psicología Clínica. Pamplona (Navarra), SPAIN

CS11-5 【指定発言】

○加藤 隆弘

九州大学大学院医学研究院精神病態医学

〈コーディネーター〉 堀之内 徹 北海道大学大学院医学院神経病態学講座精神医学教室

6月20日(木) N会場 (ホテル 3F 小会場) [孔雀]

8:30~10:30

シンポジウム 8

精神神経科領域におけるロボット治療の現状と今後の課題

司会：村松 太郎 慶應義塾大学精神神経科学教室
松本 吉央 産業技術総合研究所ロボットイノベーション研究センター

S8-1

精神疾患患者へロボットを用いた介入の現状、アンドロイドの潜在性

○熊崎 博一^{1,2}

¹金沢大学子どものこころの発達研究センター、²国立研究開発法人国立精神神経医療研究センター

S8-2

複数ロボットがもたらす精神科治療における新たな潜在性

○吉川 雄一郎^{1,2}、松本 吉央³、熊崎 博一⁴、宮尾 益知⁵、石黒 浩^{1,2}

¹大阪大学、²JST ERATO石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクト、³産業技術総合研究所、⁴金沢大学、⁵どんぐりクリニック

S8-3

神経回路モデルを用いた自閉スペクトラム症の発生原理の構成的解明

○長井 志江

東京大学

S8-4

ひきこもり治療にロボットをどう活かすか？ドラえもんがのび太を救う

○加藤 隆弘

九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S8-5

精神神経科領域におけるロボット治療の有効性と病理・病態の検討

○宮尾 益知

どんぐり発達クリニック

S8-6

【指定発言】

○今村 明

長崎大学病院精神科神経科

S8-7

【指定発言】

○上出 寛子

名古屋大学未来社会創造機構

S8-8

【指定発言】

○岩田 和彦

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター

〈コーディネーター〉 熊崎 博一 金沢大学子どものこころの発達研究センター
加藤 隆弘 九州大学病院精神科神経科
吉川 雄一郎 大阪大学大学院基礎工学研究科

10:40~12:40

シンポジウム 21

定型的な薬物療法に行き詰まった時の新たな治療戦略 -難治性精神症状への挑戦-

司会：品川 俊一郎 東京慈恵会医科大学附属病院
野田 賀大 慶應義塾大学医学部精神神経科

S21-1

治療抵抗性統合失調症とクロザピン、グルタミン酸仮説

○中島 振一郎

慶應義塾大学医学部精神神経科



S21-2 定型的な薬物療法に行き詰まった時の新たな治療戦略：認知症のBPSDに対して

○品川 俊一郎
東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科

S21-3 治療抵抗性うつ病に対するニューロモデュレーションの可能性

○野田 賀大
慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

S21-4 治療抵抗性双極性障害の薬物療法：これまでとこれから

○仁王 進太郎
東京都済生会中央病院精神科（心療科）

S21-5 難治性うつ病の画期的治療薬として期待されるケタミン

○橋本 謙二
千葉大学

〈コーディネーター〉 中島 振一郎 慶應義塾大学医学部精神神経科

13:50～14:50 一般演題（口演）12
摂食障害関連 1

司会：木下 利彦 関西医科大学精神神経科

1-012-1 摂食障害患者の初回入院における退院時BMIと再入院についての検討

○兄玉 貴久子^{1,3}、塚田 恵鯉子¹、根本 清貴²、新井 哲明²
¹筑波大学附属病院、²筑波大学医学医療系精神医学、³公益財団法人報恩会石崎病院

1-012-2 当院の回復支援入院プログラムによる神経性やせ症の1年後の転帰について

○米良 貴嗣
八幡厚生病院精神科・心療内科

1-012-3 当院における重症摂食障害患者に対する急性期の栄養管理

○小林 弘典¹、眞次 康弘²、今岡 貴久²、伊藤 圭子²、安田 由美¹、片岡 努¹、岡田 怜¹、
住吉 秀律¹、高畑 紳一¹
¹県立広島病院精神神経科、²県立広島病院栄養管理科

1-012-4 病的窃盗あるいは窃盗癖あり過去5年間に当院受診した症例の臨床特徴について

○山下 陽三
社会医療法人明和会医療福祉センター渡辺病院

1-012-5 胃切除後のダンピング症候群を合併し、病態が複雑化した神経性やせ症の一例

○黒鳥 偉作、三井 信幸、渡辺 晋也、賀古 勇輝、久住 一郎
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

14:50～15:50 一般演題（口演）23
疫学・その他

司会：三村 将 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

1-023-1 福島県における震災関連自殺 予防の手掛かりを求めて

○丹羽 真一¹、前田 正治²、星野 大³、國井 泰人¹、竹林 由武⁴
¹福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、²福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座、
³福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、⁴福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座

1-023-2

保険者保有のレセプト情報を用いた睡眠薬過量投与の予防的介入研究

○喜多村 祐里¹、小川 俊夫²、清林 章³、飯地 智紀⁴、祖父江 友孝¹

¹大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座環境医学、大阪大学医学部附属病院神経科精神科（診療科）、

²国際医療福祉大学大学院、³協会けんぽ大阪支部、⁴協会けんぽ本部

1-023-3

過敏性腸症候群：警告徴候をめぐって

○齊尾 武郎^{1,2}

¹SMBC日興証券健康管理室、²フジ虎ノ門整形外科病院精神科

1-023-4

精神科病院に通院中の統合失調症患者の禁煙ステージとその後の禁煙行動 -アンケートによる縦断調査

○藤原 雅樹¹、樋口 裕二²、稲垣 正俊³、中谷 直樹⁴、藤森 麻衣子⁵、林原 千夏⁶、宋 龍平⁷、
新川 郁太⁷、佐藤 康治郎⁷、矢田 勇慈⁷、児玉 匡史⁷、竹中 央⁷、来住 由樹⁷、掛田 恭子⁸、
内富 庸介⁵、山田 了士⁹

¹岡山大学病院精神科神経科、²こころの医療たいようの丘ホスピタル、³島根大学医学部精神医学講座、

⁴東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門、⁵国立研究開発法人国立がん研究センター、

⁶星城大学リハビリテーション学部、⁷地方独立行政法人岡山県精神科医療センター、

⁸高知大学医学部神経精神科学教室、⁹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学

1-023-5

精神医学史研究とアーカイブズの現況

○後藤 基行

東京大学先端科学技術研究センター

16:00~18:00

シンポジウム 32

金沢総会後 50 年 -その後の学会の変革と将来への展望-

司会：山口 成良 社会医療法人財団松原愛育会松原病院精神科
小島 卓也 医療法人社団輔仁会大宮厚生病院

S32-1

金沢総会当日のこと

○山口 成良

社会医療法人財団松原愛育会松原病院精神科

S32-2

金沢総会後の学会の変革

○小島 卓也

医療法人社団輔仁会大宮厚生病院

S32-3

未完の革命 -69 年金沢学会-日本精神神経学会は真に改革されたのか-

○星野 征光

大阪・高槻 星のクリニック

S32-4

日本精神神経学会の現在の課題と今後の方向

○神庭 重信

九州大学

〈コーディネーター〉 山口 成良 社会医療法人財団松原愛育会松原病院精神科



6月20日(木) ○会場 (ホテル 4F 小会場) [朱鷺A]

8:30～10:30

シンポジウム 9

新規抗うつ剤の最適使用戦略を確立する日本最大の実践的メガトライアル SUN☺D study

司会：古川 壽亮 京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野
山田 光彦 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部

S9-1

SUN☺D 試験の背景と臨床疑問

○稲垣 正俊
島根大学医学部精神医学講座

S9-2

SUN☺D Step 1、Step 2 の結果

○古川 壽亮
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康増進・行動学分野

S9-3

うつ病に対する急性期抗うつ薬治療における寛解後の再燃予測因子

○明智 龍男
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

S9-4

臨床試験の質を保証するための工夫：SUN☺D 試験の経験

○山田 光彦
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部

S9-5

〔指定発言〕

○中込 和幸
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈コーディネーター〉 山田 光彦 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部
古川 壽亮 京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野

10:40～12:40

シンポジウム 22

アルツハイマー型認知症の臨床：現状と今後への展望

司会：田淵 肇 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
大嶋 明彦 佐野厚生総合病院精神神経科/慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

S22-1

アルツハイマー型認知症 神経心理学の立場から

○尾鷲 登志美^{1,2}
¹牧田総合病院精神科、²昭和大学医学部精神医学教室

S22-2

アルツハイマー病における PET 検査とその問題点について

○田淵 肇
慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

S22-3

アルツハイマー型認知症の薬物療法

○山田 浩樹
昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

S22-4

アルツハイマー病の予防をめぐる

○大嶋 明彦^{1,2}
¹佐野厚生総合病院精神神経科、²慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

S22-5

〔指定発言〕

○中込 和幸
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S22-6

〔指定発言〕

○船山 道隆^{1,2}
¹慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、²足利赤十字病院

〈コーディネーター〉 三村 将 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
岩波 明 昭和大学附属烏山病院

13:50～14:50 一般演題（口演）13
認知症 1

司会：下田 和孝 獨協医科大学精神神経医学講座

1-013-1

認知症の運転免許；診断例の実際と問題点 -MCI や軽症例、AD 以外の認知症における問題点

○上村 直人、藤戸 良子
高知大学医学部附属病院神経精神科学教室

1-013-2

認知症専門老人保健施設における重度認知症患者への個人別音楽聴取実施の結果および集団音楽聴取との比較

○小林 知佳¹、黒川 達也^{1,2}、菅原 玲子¹
¹医療法人社団成仁成仁介護老人保健施設、²医療法人社団成仁病院

1-013-3

認知症の人の社会的包摂を目指した、上越における 3 年間の稲作ケアの成果

○岡村 毅¹、宇良 千秋¹、鳥島 佳佑²、石黒 太一²、山崎 幸子³、新名 正弥^{1,4}、川室 優²
¹東京都健康長寿医療センター、²川室記念病院、³文京学院大学、⁴公益財団法人未来工学研究所

1-013-4

認知症患者の家族介護者に対する心理教育プログラムの有効性の検討

○姜 善貴、大石 智、滝澤 毅矢、宮岡 等
北里大学病院精神神経科

1-013-5

認知症周辺症状（BPSD）に対する escitalopram の効果と安全性について

○小原 喜美夫^{1,2}
¹行橋厚生病院精神科、²医療法人コミュニテ風と虹のぞえ総合心療病院

14:50～15:50 一般演題（口演）24
地域精神医療 1

司会：遠藤 謙二 医療法人友愛会千曲荘病院

1-024-1

戦前の全国公立と代用精神科病院、院主院長会議

○金川 英雄^{1,4}、石田 文孝²、儀賀 理暁^{2,3}、大島 孝²、細田 泰雄²、原 彰男²
¹国立病院機構埼玉病院精神科、²国立病院機構埼玉病院、³埼玉医科大学総合医療センター、⁴昭和大学精神科

1-024-2

大分県における私宅監置の書類

○金川 英雄^{1,4}、奥村 克行¹、野田 武志³、横村 信子⁴、湯之原 絢⁴、荒 義昭⁴、高橋 邦雄⁴
¹五反田駅前メンタルクリニック、²国立病院機構埼玉病院精神科、³NPO法人大分県近現代資料調査センター、⁴国立病院機構埼玉病院、⁵昭和大学精神科

1-024-3

地域における総合病院での心療内科（精神科）外来における臨床的特徴

○新井 久稔^{1,2}、加藤 啓子²、大久保 築世³、内田 望²、宮岡 等¹
¹北里大学医学部精神科学、²小鹿野中央病院、³小鹿野町役場



16:00～17:40 **ワークショップ 1**（性同一性障害に関する委員会）
性同一性障害に対する精神的治療と身体的治療

司会：織田 裕行 関西医科大学総合医療センター
松永 千秋 ちあきクリニック

WS1 〈講演者〉 康 純 大阪医科大学附属病院
松本 洋輔 岡山大学病院ジェンダーセンター
市原 浩司 札幌医科大学附属病院
難波 祐三郎 岡山大学病院ジェンダーセンター

 〈コーディネーター〉 松本 洋輔 岡山大学病院ジェンダーセンター
 織田 裕行 関西医科大学総合医療センター
 松永 千秋 ちあきクリニック

6月20日(木) P会場 (ホテル 4F 小会場) [朱鷺B]

8:30~10:30

シンポジウム 10

実践！双極性感情障害の対人関係社会リズム療法(IPSRT)入門～明日からできる、つまみ食い IPSRT のすすめ！

司会：宗 未来
近藤 真前

東京歯科大学市川総合病院精神科/慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
名古屋市立大学病院

S10-1

先ず“社会リズム療法”から始めよ！：小乗 IPSRT ではない、大乘 IPSRT のすすめ

○宗 未来

東京歯科大学市川総合病院精神科、慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

S10-2

双極性障害と対人関係療法“社会的ひきこもり”に対して対人関係社会リズム療法を施行した一例を通して

○今井 理紗^{1,2}

¹名古屋市立大学病院精神科、²医療法人資生会八事病院

S10-3

初学者がゼロから始めた対人関係療法

○山市 大輔¹、横山 貴和子^{1,2}、宗 未来^{1,3}

¹慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、²東京都立小児総合医療センター、³東京歯科大学市川総合病院

S10-4

対人関係療法の臨床的特徴－認知行動療法との比較－

○近藤 真前

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

〈コーディネーター〉 宗 未来
近藤 真前

東京歯科大学市川総合病院精神科/慶應義塾大学病院
名古屋市立大学病院

10:40~12:40

シンポジウム 23

物質使用障害のスティグマを乗り越える

司会：長 徹二
齋藤 利和

名古屋医専
北仁会幹メンタルクリニック

S23-1

アルコール依存症に対するスティグマとその乗り越えの試み

○齋藤 利和

医療法人北仁会幹メンタルクリニック

S23-2

薬物依存症のスティグマを乗り越える

○成瀬 暢也

埼玉県立精神医療センター精神科

S23-3

物質使用障害に対して一般病院および高齢者医療でできること

○射場 亜希子

兵庫県立姫路循環器病センター高齢者脳機能治療室

S23-4

少年非行と物質使用障害

○中野 温子

奈良少年院

S23-5

アルコール・薬物使用障害を抱える人を多角的に理解する

○長 徹二

名古屋医専



S23-6

〔指定発言〕

○宮田 久嗣
東京慈恵会医科大学附属病院

S23-7

〔指定発言〕

○橋本 望
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

〈コーディネーター〉 田中 増郎 医療法人信和会高嶺病院精神科/公益財団法人慈圭会慈圭病院
長 徹二 名古屋医専
成瀬 暢也 埼玉県立精神医療センター

13:50~14:50 一般演題（口演）14
認知症 2

司会：山下 俊幸 京都府立洛南病院

1-014-1

老年期の Late-onset AD/HD に関する臨床的研究

○佐々木 博之¹、遊亀 誠二¹、石川 智久¹、福原 竜治¹、城野 匡¹、橋本 衛²、池田 学³、竹林 実^{1,2}
¹熊本大学医学部附属病院神経精神科、²熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野、
³大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

1-014-2

精神科単科病院における認知症難聴患者に対する語音明瞭度検査

○清水 謙祐^{1,2}、松田 圭二²、船橋 英樹³、石田 康³、吉田 建世¹、東野 哲也²
¹医療法人建悠会吉田病院精神科、²宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室、
³宮崎大学医学部臨床神経学会講座精神医学分野

1-014-3

日本へ移住した外国人で若年性アルツハイマー型認知症を発症した一例

○濱村 尚子、中村 毅、今村 研介、横塚 紗永子、西田 佳晃、寺崎 茜、佐々木 なつき、
春日井 基文、中村 雅之、佐野 輝
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

1-014-4

口腔内水分量変化を用いた高齢者精神科病棟における口腔ケアの評価

○佐藤 啓¹、富岡 大²、坂内 めぐみ¹、大日方 絵美子¹、加藤 順子¹、古谷野 妙子¹、畠山 千春¹、
本間 圭³、嘉部 匡朗⁴、大野 実里⁴、稲本 淳子²
¹昭和大学横浜市北部病院看護部、²昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、
³昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔リハビリテーション医学部門、
⁴昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション室

1-014-5

カタトニアを呈した前頭側頭型認知症の一例

○田村 越紘、治徳 大介、車地 暁生
東京医科歯科大学医学部附属病院精神科

14:50~15:50 一般演題（口演）25
地域精神医療 2

司会：寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座

1-025-1

精神科通院患者における援助希求行動促進に向けた携帯メール介入の効果～ランダム化比較試験～

○児玉 豊彦¹、田村 裕子²、小森 照久²、片岡 三佳²、井倉 一政³、橋本 健志⁴
¹産業医科大学産業保健学部看護学科、²三重大学大学院医学系研究科、³三重県立看護大学、
⁴神戸大学大学院保健学研究科

1-025-2

当院の精神科医療再建に向けた活動報告現状、今後の課題と展望

○佐久間 寛之、西澤 芳子、村上 優、野村 憲一、下村 登規夫
独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

1-025-3 自殺予防外来に求められるニーズについて

○衛藤 暢明、川崎 弘詔
福岡大学医学部精神医学教室

1-025-4 災害後の精神的健康状態と歩行習慣の関連

○内海 裕介¹、富田 博秋²、根本 晴美¹、奥山 純子²
¹東北大学大学院医学系研究科災害精神医学分野、²東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

1-025-5 精神科オンライン診療の可能性

○磯部 昌憲
京都大学医学部附属病院

16:00～17:40 ワークショップ2（精神療法委員会）
映像で学ぶ初回面接－遷延性うつ病編－

司会：渡辺 俊之 渡辺医院/高崎西口精神療法研修室
水野 雅文 東邦大学

WS2 〈講演者〉 中村 敬 東京慈恵会医科大学
吾妻 壮 上智大学
布施 泰子 茨城大学
大野 裕 大野研究所

〈コーディネーター〉 渡辺 俊之 渡辺医院/高崎西口精神療法研修室



6月20日(木) Q会場(万代島ビル 6F) [会議室]

8:30~10:30 シンポジウム11
内観療法の理論と現代的応用

司会：堀井 茂男 公益財団法人慈圭会慈圭病院
小澤 寛樹 長崎大学病院精神科神経科

S11-1 依存症に対する内観療法

○塚崎 稔
医療法人清潮会三和中央病院

S11-2 生活習慣病・摂食障害への内観療法の適応

○河合 啓介
国立国際医療研究センター国府台病院心療内科

S11-3 希死念慮に表れる日常から離れて行う内観療法の効果

○橋本 章子^{1,2}
¹帝京大学医療技術学部臨床検査学科、²くるみクリニック心理室

S11-4 内観療法の作用機序

○高橋 美保
東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース

S11-5 【指定発言】

○真栄城 輝明
佛教大学/大和内観研修所

〈コーディネーター〉 塚崎 稔 医療法人清潮会三和中央病院

10:40~12:40 Fellowship Award Symposium 1
Coercive measures in psychiatry

Chairpersons : Saul Levin American Psychiatric Association
Toshitaka Ii Aichi Medical University Department of Psychiatry

FAS1-1 Coercive Measures in Psychiatry : The Patient's View

○Adam Mollinger
St Vincent's Hospital, Melbourne, Australia

FAS1-2 Patient's rights in a psychiatric hospital –an outline of the problems from the Polish perspective.

○Anna R Szczegielniak
Department of Psychiatric Rehabilitation, Department of Psychiatry and Psychotherapy, School of Medicine in Katowice, Medical University of Silesia, Poland

FAS1-3 Coercive Measures in Psychiatry : Least Restrictive Means

○Bryan G Smith
Wake Med Health and Duke University Medical Center, USA

FAS1-4 Emergency Psychiatry in Japan

○Ryo Kawagishi
Chiba Psychiatric Medical Center

〈Coordinator〉 Toshitaka Ii : Aichi Medical University Department of Psychiatry

13:50~15:50 **Fellowship Award Symposium 2**
Coercive measures in psychiatry

Chairpersons : **Shin-Cheng Liao** National Taiwan University
Nozomu Oya Department of psychiatry, Kyoto Prefectural University of Medicine

FAS2-1 The Double-edged Sword of Coercive Measures in Psychiatry : A Case Discussion from Malaysian Context

○Jiann Lin Loo
Faculty of Medicine and Health Sciences, Universiti Malaysia Sabah, Malaysia

FAS2-2 DILEMMA OF INVOLUNTARY TREATMENTS

○Özlem Kuman Tunçel
Ege University Faculty of Medicine Psychiatry Department, Turkey

FAS2-3 Compulsory detention and treatment for mental disorders in the United Kingdom

○Rashmi Patel
Department of Psychosis Studies, IoPPN, King's College London, UK

FAS2-4 Coercive measures in Japanese psychiatric hospitals : Current condition and future directions

○Naoki Takamatsu
Tama Aoba Hospital, Department of Neuropsychiatry University of Tokyo Hospital

〈Coordinator〉 Nozomu Oya : Department of psychiatry, Kyoto Prefectural University of Medicine

16:00~17:40 **ワークショップ 3**
脳波の基礎コース

司会 : **山内 俊雄** 埼玉医科大学名誉学長
矢部 博興 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

WS3 〈講演者〉

矢部 博興	福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
原 恵子	原クリニック
太田 克也	恩田第2病院
渡邊 さつき	埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

〈コーディネーター〉 矢部 博興 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座



6月20日(木) ポスター会場1 (センター 2F) [エスプラナード]

12:50~13:38 一般演題 (ポスター) 1 統合失調症 1

司会：中野 和広 中野クリニック

- 1-P1-1 統合失調症患者、非罹患近親者および健常者における病前推定 IQ と現在の IQ 間の知的機能障害**
○大井 一高^{1,2}、嶋田 貴充¹、片岡 譲¹、小出 蓉子¹、上原 隆¹、大久保 裕章¹、川崎 康弘¹
¹金沢医科大学精神神経科学、²金沢医科大学総合医学研究所
- 1-P1-2 日本の統合失調症患者のグルテン感受性と、グルテン制限食が有効であった治療抵抗性統合失調症の一例**
○本山 美久仁^{1,2}、山田 恒¹、本西 正道²、松永 寿人¹
¹兵庫医科大学精神科神経科学講座、²医療法人好寿会美原病院
- 1-P1-3 CYP2D6 遺伝子多型が risperidone 代謝に与える影響**
○常山 暢人¹、鈴木 雄太郎¹、福井 直樹¹、須貝 拓朗¹、渡邊 純蔵²、小野 信¹、染矢 俊幸¹
¹新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、²新潟厚生連中条第二病院
- 1-P1-4 短期間に感染症を繰り返した、好中球低下を示さず正常抗体価だったクロザピン服用患者の一例**
○富田 哲¹、神 崇太¹、古郡 規雄^{1,2}、中村 和彦¹
¹弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、²獨協医科大学精神神経医学講座
- 1-P1-5 新規抗精神病薬内服後に胃排出能の変化が疑われた統合失調症の一例**
○三上 剛明¹、福井 直樹¹、坂上 仁¹、折目 直樹¹、横山 裕一¹、小野 信²、染矢 俊幸¹
¹新潟大学医歯学総合病院精神科、²新潟県立精神医療センター
- 1-P1-6 At-risk mental state および統合失調症における嗅覚機能障害**
○高橋 努¹、中村 美保子¹、笹林 大樹¹、小森 祐子¹、樋口 悠子¹、西川 祐美子¹、西山 志満子¹、伊藤 博子¹、政岡 ゆり²、鈴木 道雄¹
¹富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、²昭和大学医学部生理学講座

12:50~13:38 一般演題 (ポスター) 2 統合失調症 2

司会：國井 泰人 福島県立医科大学会津医療センター

- 1-P2-1 治療抵抗性統合失調症患者に対するドパミン過感受性を考慮した長半減期型非定型抗精神病薬の効果検証**
○仲田 祐介¹、金原 信久²、伊豫 雅臣¹
¹千葉大学大学院医学研究院精神医学、²千葉大学社会精神保健教育研究センター
- 1-P2-2 健常者及び統合失調症の作業記憶神経ネットワークにおける GABA ニューロンサブグループ選択的転写産物の発現**
○坪本 真^{1,2}、川端 梨加²、Xiaonan Zhu³、三邊 義雄^{2,4}、Kehui Chen³、David A Lewis^{5,6}、橋本 隆紀^{2,4,5}
¹独立行政法人国立病院機構北陸病院、²金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学、³Department of Statistics, University of Pittsburgh、⁴金沢大学子どものこころの発達研究センター、⁵Department of Psychiatry, University of Pittsburgh、⁶Department of Neuroscience, University of Pittsburgh
- 1-P2-3 機能的多型 rs6295 は急性期白人統合失調症患者における非定型抗精神病薬ルラシドンの治療反応性を予測する**
○吉川 茜^{1,2}、Jiang Li¹、Herbert Meltzer¹
¹Northwestern University Psychiatry and Behavioral Sciences、²公益財団法人東京都医学総合研究所

1-P2-4

統合失調症罹患同胞対・両親の全エクソームシーケンス

○井桁 裕文¹、渡部 雄一郎¹、保谷 智史¹、森川 亮¹、小泉 暢大^{1,2}、染矢 俊幸¹

¹新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、²新潟県立精神医療センター

1-P2-5

統合失調症多発罹患家系において疾患と共分離する変異の検索

○布川 綾子^{1,2}、渡部 雄一郎¹、金子 尚史²、村竹 辰之³、染矢 俊幸¹

¹新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、²大島病院、³古町心療クリニック

1-P2-6

統合失調症におけるマクロファージ遊走阻止因子（MIF）の血清濃度増加と遺伝子多型関連解析

○岡崎 賢志¹、大塚 郁夫¹、渡部 雄一郎²、朴 秀賢¹、新名 尚史¹、平田 尚士¹、蓬萊 政¹、
染矢 俊幸²、曾良 一郎¹、菱本 明豊¹

¹神戸大学大学院医学研究科精神医学分野、²新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

12:50～13:38

一般演題（ポスター）3

統合失調症 3

司会：澁谷 雅子 恵生会 南浜病院

1-P3-1

精神科長期入院患者におけるサルコペニアの有病率

○北村 秀明、齋藤 公子、宗村 恵介、竹田 裕子、佐藤 宏平、鶴巻 まどか、加藤 あい、
中野 優、乙川 聖史

医療法人水明会佐潟荘精神科

1-P3-2

統合失調症患者における抗精神病薬持続性注射剤の使用実態と再入院に関するナショナルデータベース研究

○臼杵 理人¹、間宮 教之²、宇佐美 智浩²、山之内 芳雄¹

¹国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神医療政策研究部、

²大塚製薬株式会社メディカル・アフェアーズ部

1-P3-3

アリピプラゾール持続性注射薬とプレクスピプラゾールの併用が有効であった統合失調症の一症例

○清水 義雄、小林 建太郎

医療法人万成病院精神科

1-P3-4

重度かつ慢性の統合失調症患者における地域移行支援の一例

○豊岡 和彦、清野 治子、近 奈香子、清水 巧

医療法人恵生会南浜病院

1-P3-5

緊張型統合失調症の特徴

○長沼 英俊

医療法人優なぎ会雁の巣病院

1-P3-6

周産期における統合失調症患者の薬物療法と再発に関する後方視的研究

○菊地 紗耶¹、小林 奈津子¹、本多 奈美²、富田 博秋^{2,3}

¹東北大学病院精神科、²東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、

³東北大学大学院医学系研究科災害精神医学分野

12:50～13:38

一般演題（ポスター）4

統合失調症 4

司会：林 直樹 帝京大学医学部精神神経科学講座

1-P4-1

多剤併用により Neuroleptic-Induced Catatonia が見られた統合失調症の一例

○小泉 暢大¹、橋尻 洗陽²、小野 信^{1,3}、細木 俊宏¹

¹新潟県立精神医療センター、²新潟県立新発田病院、³新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座



1-P4-2

日本語版 PANSS の信頼性、妥当性評価

橋本 直樹、岡 松彦、高信 径介、○成田 尚、北川 寛、宇土 仁木、前田 珠希、渡辺 晋也、大柳 有加、宮崎 茜、伊藤 侯輝、久住 一郎
北海道大学病院精神科神経科

1-P4-3

ドパミン部分作動薬とプロナンセリンの併用によって回復した治療抵抗性統合失調症の 3 例

○田村 紀郎¹、山本 愛¹、八木 剛平^{1,2}、堤 康彦¹
¹医療法人社団朋友会けやきの森病院、²おおぞらクリニック

1-P4-4

統合失調症治療薬による心血管系イベント発症リスクの検証：医療情報データベースを用いたコホート研究

○久住 一郎¹、井上 幸恵²、馬場 健次³、野坂 忠史³、安斉 俊久⁴
¹北海道大学大学院医学研究院精神医学教室、²クレコンメディカルアセスメント株式会社、³大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、⁴北海道大学大学院医学研究院循環病態内科学教室

1-P4-5

当院でのクロザピン治療の現状と効果が見込める症例の検討～後方視的調査研究及び脳機能画像学的検査～

○須藤 友博¹、田川 みなみ^{1,2}、武井 雄一²、芦名 孝一¹、赤田 卓志朗¹、福田 正人²
¹群馬県立精神医療センター、²群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教室

1-P4-6

統合失調症患者における神経発達症合併の臨床経過への影響の評価

○尾関 祐二¹、藤井 久彌子¹、Katja Koelkebeck²、下田 和孝¹
¹獨協医科大学精神神経医学講座、²University of Muenster, Department of Psychiatry and Psychotherapy

12:50～13:38 一般演題（ポスター）5 統合失調症 5

司会：山口 哲顕 医療法人正永会港北病院

1-P5-1

統合失調症患者に対する非定型抗精神病薬認知機能改善効果

○堀 輝、香月 あすか、阿竹 聖和、井形 亮平、小西 勇輝、吉村 玲児
産業医科大学精神医学教室

1-P5-2

日本人統合失調症患者の中性脂肪と抗精神病薬との関連：外来-入院における差異

○小野 信¹、須貝 拓朗²、鈴木 雄太郎²、山崎 學³、下田 和孝⁴、森 隆夫³、尾関 祐二⁴、松田 ひろし³、菅原 典夫⁵、古郡 規雄^{4,5}、岡本 呉賦³、寒河江 豊昭⁶、染矢 俊幸²
¹新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座、²新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、³公益社団法人日本精神科病院協会、⁴獨協医科大学精神神経医学講座、⁵弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、⁶山形県立米沢栄養大学健康栄養学部健康栄養学科

1-P5-3

「重度かつ慢性」精神科長期入院統合失調症の入院後 1 年間の処方調査

○宮田 量治¹、三澤 史斉¹、藤井 康男¹、武田 俊彦²、内田 裕之³
¹地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院精神科、²公益財団法人慈主会慈主病院、³慶應義塾大学病院

1-P5-4

クロザピンとリチウムを長期併用し腎性尿崩症に至った 1 例

○小松 宗央¹、菊池 結花¹、佐藤 優真²、大森 佑貴¹、神林 崇¹、三島 和夫¹、清水 徹男^{1,3}
¹秋田大学医学部附属病院精神科、²能代厚生医療センター、³秋田県精神保健福祉センター

1-P5-5

精神科入院統合失調症の処方実態調査

○宮田 量治¹、三澤 史斉¹、藤井 康男¹、武田 俊彦²、内田 裕之³
¹地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院精神科、²公益財団法人慈主会慈主病院、³慶應義塾大学病院

1-P5-6

クロザピンによる振戦、ミオクロニー発作、強直間代発作に対するペランパネルの有効性に関する報告

○菊池 結花¹、佐藤 優真²、吉沢 和久⁴、大森 佑貴¹、三島 和夫¹、清水 徹男³
¹秋田大学医学部附属病院精神科、²能代厚生医療センター、³秋田県精神保健福祉センター、⁴市立大曲病院

12:50～13:38 一般演題（ポスター）6
気分障害 1

司会：石井 知行 メーブルヒル病院

1-P6-1 うつ病における血清アミロイド β タンパクの推移

○夏目 俊太郎^{1,2}、馬場 元^{1,2}、前嶋 仁^{1,2}、島野 嵩久^{1,2}、済田 貴生¹、鈴木 利人¹、新井 平伊¹
¹順天堂大学院医学研究科精神行動科学、²順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

1-P6-2 セルトラリンが奏効した CADASIL に伴う精神病性うつ病の一症例

○大竹 将貴¹、横山 裕一¹、三上 剛明¹、野崎 洋明²、染矢 俊幸¹
¹新潟大学医歯学総合病院精神科、²新潟大学医歯学総合病院神経内科

1-P6-3 難治性うつ病に対する rTMS における前頭葉機能の改善と炎症系バイオマーカーの変化との相関

○立石 洋¹、白石 匠¹、菊池 潤¹、藤井 由佳¹、小嶋 亮平¹、馬渡 星示¹、諸隈 暢¹、村川 徹²、
松島 淳²、國武 裕¹、國武 浩子¹、今村 義臣¹、前川 敏彦³、浅見 豊子⁴、溝口 義人²、川口 淳⁴、
門司 晃²
¹佐賀大学医学部附属病院精神神経科、²佐賀大学医学部精神医学講座、³九州大学大学院、⁴佐賀大学医学部

1-P6-4 初回エピソードの大うつ病性障害患者における PCLO 遺伝子多型 rs2522833 と大脳皮質容量の
関連

○井形 亮平¹、香月 あすか¹、掛田 伸吾²、渡邊 啓太²、井形 夏貴²、堀 輝¹、阿竹 聖和¹、
小西 勇輝¹、川崎 祐也²、興梠 征典²、吉村 玲児¹
¹産業医科大学精神医学教室、²産業医科大学病院

1-P6-5 妊娠期発症のうつ病が分娩後に軽快した一症例

○森川 亮¹、上馬場 伸始²、小泉 暢大栄³
¹新潟大学医歯学総合病院精神科、²新潟県立新発田病院精神科、³新潟県立精神医療センター

1-P6-6 寛解後のうつ病における認知機能の長期追跡調査

○島野 嵩久^{1,2}、馬場 元^{1,2}、前嶋 仁^{1,2}、井上 恵^{1,2}、鈴木 利人^{1,2}、新井 平伊²
¹順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック、²順天堂大学精神医学教室



6月20日(木) ポスター会場2 (センター 2F) [メインホールAB前ホワイエ]

12:50~13:38 一般演題 (ポスター) 7
統合失調症 6

司会：片桐 直之 東邦大学医学部精神神経医学講座

- 1-P7-1 統合失調症に対する methylfolate 補充療法の有効性に関するサブグループメタ解析
○佐久間 健二¹、野村 郁雄¹、奥谷 理¹、大矢 一登¹、松永 慎史^{1,2}、岸 太郎¹、岩田 伸生¹
¹藤田医科大学精神神経科学、²藤田医科大学認知症・高齢診療科
- 1-P7-2 クロザピンおよびその活性代謝物濃度モニタリング中に好中球・白血球減少症となった1例
○菊池 結花¹、佐藤 優真¹、小松 宗央¹、赤嶺 由美子²、大森 佑貴¹、神林 崇¹、三島 和夫^{1,3}、清水 徹男³
¹秋田大学医学部附属病院精神科、²秋田大学医学部附属病院、³秋田県精神保健センター
- 1-P7-3 アリピプラゾール投与中に性機能障害を訴え、低プロラクチン血症が見られた男性統合失調症患者の2症例
○金子 尚史
恵愛会大島病院
- 1-P7-4 精神科病院でのオープンダイアログの試み：支援者・当事者の関係に変化が生まれ、問題が解消した一例
○村上 純一、西 泰孝、石田 展弥
医療法人明和会琵琶湖病院精神科
- 1-P7-5 血清 IGF-1 値、血清 cortisol 値と統合失調症の重症度との関連
○有波 浩¹、鈴木 雄太郎^{1,2}、田尻 美寿々¹、常山 暢人¹、染矢 俊幸¹
¹新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、²医療法人敬愛会末広橋病院
- 1-P7-6 統合失調症と診断された症例を対象とした成人型ニーマンピック病 C 型を示唆する所見の検討
○藤井 久彌子¹、前川 正充²、尾関 祐二³、衛藤 義勝⁴、齋藤 尚大⁵、篠崎 将貴¹、有銘 預世布⁶、永島 隆秀^{7,8}、岡安 寛明¹、石井 沙安也¹、下田 和孝¹
¹獨協医科大学精神神経医学講座、²東北大学病院薬剤部、³滋賀医科大学精神医学講座、⁴(財)脳神経疾患研究所附属先端医療研究センター&遺伝病治療研究所、⁵医療法人カメラ横浜カメラホスピタル、⁶獨協医科大学精神生物学講座、⁷足利赤十字病院内科(神経)、⁸獨協医科大学内科学(脳神経)講座

12:50~13:38 一般演題 (ポスター) 8
統合失調症 7

司会：高木 学 岡山大学病院精神科神経科

- 1-P8-1 薬物治療により認知機能および臨床症状の改善を認めた単純型統合失調症の2症例
○大竹 裕美¹、鈴木 雄太郎²、常山 暢人²、染矢 俊幸²
¹新潟県立新発田病院、²新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野
- 1-P8-2 単純型統合失調症をプロトタイプとした「青年期認知機能障害」における認知機能や臨床症状の推移
○大竹 裕美¹、鈴木 雄太郎²、常山 暢人²、染矢 俊幸²
¹新潟県立新発田病院、²新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野
- 1-P8-3 統合失調症患者に対する aripiprazol LAI の安全性及び有効性の検討 -PMS の中間報告
○曾我 綾華¹、安田 守良¹、高山 智代¹、滝沢 京子¹、徳山 年美¹、福田 泰彦¹、岩田 伸生²
¹大塚製薬株式会社PV部メディカルセーフティー室、²藤田医科大学医学部精神神経科学講座

1-P8-4

アリピプラゾール血中濃度と血清プロラクチン濃度の関係

○久保 一利¹、古郡 規雄^{1,3}、土嶺 章子²、中村 和彦¹

¹弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、

³獨協医科大学精神神経医学講座

1-P8-5

統合失調症患者における HDL コレステロールと薬剤間差について

○大竹 将貴¹、須貝 拓朗¹、小野 信⁷、鈴木 雄太郎¹、山崎 學²、下田 和孝³、森 隆夫²、

尾関 祐二³、松田 ひろし²、菅原 典夫⁵、古郡 規雄^{3,6}、岡本 呉賦²、寒河江 豊昭⁴、染矢 俊幸¹

¹新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、²公益財団法人日本精神科病院協会、

³獨協医科大学精神神経医学講座、⁴山形県立米沢栄養大学、

⁵国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター、

⁶弘前大学大学院神経精神医学講座、⁷新潟県立精神医療センター

1-P8-6

水中毒により横紋筋融解症を呈した統合失調症の 1 例

○佐野 英孝

白根緑ヶ丘病院精神科

12:50~13:38

一般演題（ポスター）9

気分障害 2

司会：村上 直人

地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター

1-P9-1

認知症発症の危険因子としてのうつ病及び双極性障害

○須田 寛子¹、鈴木 雄太郎^{1,2}、茂木 崇治¹、横山 裕一¹、福井 直樹¹、染矢 俊幸¹

¹新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、²医療法人敬愛会末広橋病院精神科

1-P9-2

注意欠陥多動性障害の診断及び治療が双極性感情障害の寛解維持に有用であった一例

○小林 七彩、三瀬 耕平、塩江 遼太、塩飽 裕紀、田村 赳紘、治徳 大介、車地 暁生

東京医科歯科大学医学部附属病院/東京医科歯科大学医学部精神科

1-P9-3

うつ病患者の受療行動に関するアンケート調査：診療科とその理由

○内藤 宏

藤田医科大学医学部精神神経科学講座

1-P9-4

自然風景画像が抑うつ・不安症状を有する健常者にもたらすリラックス効果：機能的 NIRS を用いた検討

○萩原 康輔、高尾 晃世、中川 恵里花、陳 冲、古林 亜由美、藤井 優子、平田 圭子、

松原 敏郎、橋本 亜希子、原田 健一郎、山形 弘隆、佐々木 順、樋口 文宏、中川 伸

山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座

1-P9-5

リワークプログラム通所中の気分障害患者における自律神経活動動態調査

○岸田 郁子^{1,2}、服部 早紀²、須田 顕²、宮内 雅利²、白石 洋子²、石井 千恵¹、石井 紀夫¹、
平安 良雄³

¹医療法人社団清心会藤沢病院、²公立大学法人横浜市立大学医学部精神医学、³医療法人へいあん平安病院

1-P9-6

OLIG2 遺伝子多型 (rs1059004) と自己スキーマ及び抑うつ症状との関連

○小松 浩^{1,9}、竹内 光²、菊地 淑恵³、小野 千晶³、兪 志前^{3,9}、飯塚 邦夫¹⁰、角藤 芳久¹、

船越 俊一^{1,4}、大野 高志^{1,7}、川島 隆太^{2,5,7}、瀧 靖之^{5,6,8}、富田 博秋^{3,8,9,10}

¹宮城県立精神医療センター精神科、²東北大学加齢医学研究所認知機能発達寄附研究部門、

³東北大学災害科学国際研究所災害医学研究部門災害精神医学分野、

⁴東北大学大学院医学系研究科地域精神医療分野、⁵東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター、

⁶東北大学加齢医学研究所機能画像医学研究分野、⁷東北大学加齢医学研究所応用脳科学研究分野、

⁸東北大学東北メディカル・メガバンク機構、⁹東北大学大学院医学系研究科災害精神医学分野、

¹⁰東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野



12:50～13:38 一般演題（ポスター）10
気分障害 3

司会：松原 六郎 公益財団法人松原病院

1-P10-1 多施設共同トリオ解析による双極性障害の遺伝的構造の解明

○西岡 将基¹、酒井 直美¹、数野 安亜¹、池田 匡志²、早馬 俊³、渡部 芳徳⁴、岡 敬⁵、小森 敦子¹、石渡 みずほ¹、的場 奈々¹、片岡 宗子¹、藤井 久彌子⁶、松尾 幸治⁷、岩田 仲生²、高田 篤^{1,8}、加藤 忠史¹

¹理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態チーム、²藤田医科大学医学部精神神経科学、³医療法人南山会横浜メンタルクリニック戸塚、⁴医療法人社団慈泉会ホズミひろぎクリニック、⁵特定医療法人十全会十全病院、⁶獨協医科大学医学部精神神経科、⁷山口大学医学部精神科神経科、⁸横浜市立大学医学部遺伝学

1-P10-2 双極性障害および大うつ病性障害患者における不安症併存頻度とその関連因子

○井上 猛¹、木村 敏史²、稲垣 芳文²、白川 治³

¹東京医科大学精神医学分野、²グラクソ・スミスクライン株式会社メディカル本部メディカル・アフェアーズ部門、³近畿大学医学部精神神経科学教室

1-P10-3 メランコリーの概念はうつ病の治療および予後予測の指標になりえるのか

○長谷川 千絵、下田 和孝
獨協医科大学精神神経医学講座

1-P10-4 治療抵抗性うつ状態の重症度と関連する要因の検討

○野崎 和博、高江洲 義和、坪井 貴嗣、今村 弥生、片桐 建志、神田 優太、松本 由美、渡邊 衡一郎
杏林大学付属病院精神神経科

1-P10-5 エジンバラ産後うつ病自己評価表の周産期における因子不変性

○久保田 智香¹、稲田 俊也²、椎野 智子¹、安藤 昌彦²、山内 彩²、大原 聖子²、佐藤 真耶²、森川 真子²、岡田 俊²、中村 由嘉子²、尾崎 紀夫²

¹国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、²名古屋大学医学部付属病院

1-P10-6 うつ病の再燃に対して認知行動療法の上乗せが有効であった 1 例

○笹林 大樹¹、菊地 俊暁²、西山 志満子¹、樋口 悠子¹、高橋 努¹、堀 有行³、鈴木 道雄¹

¹富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、²慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、³常願寺病院神経内科

12:50～13:38 一般演題（ポスター）11
気分障害 4

司会：嶽北 佳輝 関西医科大学精神神経科学教室

1-P11-1 大うつ病性障害の抗うつ薬治療における認知機能、抑うつ症状及び心理社会的機能：PERFORM-Jでの縦断的解析

○住吉 太幹^{1,2}、渡邊 衡一郎³、能登 真一⁴、坂本 繁⁵、守口 善也⁶、フェルナンデス ジュベル⁵

¹国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター情報管理・解析部、³杏林大学医学部精神神経科学、⁴新潟医療福祉大学リハビリテーション学部作業療法学科、⁵武田薬品工業株式会社ジャパンファーマビジネスユニットメディカルアフェアーズ部、⁶ルンドベック・ジャパン株式会社メディカルアフェアーズ部

1-P11-2 弘前大学および関連病院におけるうつ病心理教育の実態と特徴

○富田 哲¹、古郡 規雄^{1,8}、工藤 周平²、菅原 典夫³、藤井 学⁴、敦賀 光嗣⁵、佐藤 靖⁶、石岡 雅道⁷、中村 和彦¹

¹弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、²つがる西北五広域連合つがる総合病院、³国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、⁴一部事務組合下北医療センターむつ総合病院、⁵青森県立つくしが丘病院、⁶大館市立総合病院、⁷医療法人清照会湊病院、⁸獨協医科大学精神神経医学講座

1-P11-3	電気痙攣療法後に炭酸リチウム単剤で長期維持が可能であったうつ病 3 症例 ○富永 裕崇、香月 あすか、堀 輝、阿竹 聖和、吉村 玲児 産業医科大学病院神経精神科
1-P11-4	無作為比較試験を基にした大うつ病性障害患者の長期治療経過に関する検討 ○嶽北 佳輝、越川 陽介、斧原 藍、分野 正貴、砂田 尚孝、緒方 治彦、木下 利彦、加藤 正樹 関西医科大学精神神経科学講座
1-P11-5	Vortioxetine の大うつ病性障害患者を対象とした国内第 3 相無作為化プラセボ対照二重盲検試験 ○井上 猛 ¹ 、西村 章 ² 、笹井 清史 ² 、北川 忠行 ² ¹ 東京医科大学精神医学分野、 ² 武田薬品工業
12:50～13:38 一般演題（ポスター）12 気分障害 5	
司会：工藤 喬 大阪大学大学院医学系研究科精神健康医学	
1-P12-1	うつ病の重症度と血清 cortisol 値、IGF-1 値、PRL 値との関連 ○有波 浩 ¹ 、鈴木 雄太郎 ^{1,2} 、田尻 美寿々 ¹ 、常山 暢人 ¹ 、染矢 俊幸 ¹ ¹ 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、 ² 医療法人敬愛会末広橋病院
1-P12-2	うつ病治療予測マーカーとしての血清コルチゾール値の可能性 ○有波 浩 ¹ 、鈴木 雄太郎 ^{1,2} 、田尻 美寿々 ¹ 、常山 暢人 ¹ 、染矢 俊幸 ¹ ¹ 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、 ² 医療法人敬愛会末広橋病院
1-P12-3	光トポグラフィーを用いた大うつ病性障害の前頭葉機能の年齢差についての検討 ○関谷 樹、武井 雄一、高橋 由美子、須田 真史、小野 樹郎、櫻井 敬子、福田 正人 群馬大学医学部附属病院精神科神経科
1-P12-4	右半球の扁桃体と帯状皮質の治療前機能結合性は、TRD に対するケタミンの抗うつ効果反応を予測する ○中村 倫之 ¹ 、石橋 正敏 ¹ 、堀川 直希 ² 、上松 謙 ¹ 、富田 克 ¹ 、内村 直尚 ¹ ¹ 久留米大学病院精神神経科、 ² 久留米厚生病院
1-P12-5	双極スペクトラム障害と双極性障害の形態学的脳変化の相違について：拡散テンソル画像を用いた検討 ○下田 健吾 ^{1,2} 、木村 真人 ^{1,2} 、大久保 善朗 ² ¹ 日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科、 ² 日本医科大学精神医学教室
1-P12-6	安静時機能的結合解析を用いたうつ病への経磁気刺激法の遠隔作用機序の推定 ○石田 卓也 ^{1,2} 、森島 陽介 ² ¹ 和歌山県立医科大学付属病院神経精神科、 ² ベルン大学精神科病院



12:50～13:38 一般演題（ポスター）13
気分障害 6

司会：相澤 明憲 特定医療法人佐藤会弓削病院

- 1-P13-1 全国の精神科医向けアンケート研究：妊娠可能年齢の女性および妊婦におけるうつ病・双極性障害の薬物選択
○橋 真澄¹、橋本 佐^{1,8}、渡邊 博幸²、田中 麻未³、佐藤 泰憲⁴、竹内 崇⁵、寺尾 岳⁶、中里 道子¹、伊豫 雅臣¹
¹千葉大学大学院医学研究院精神医学教室、²千葉大学社会精神保健教育研究センター治療・社会復帰支援研究部門、³千葉大学社会精神保健教育研究センター非行臨床研究部門、⁴慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室、⁵東京医科歯科大学医学部附属病院精神科、⁶大分大学医学部精神神経医学講座、⁷社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院心療内科・精神科
- 1-P13-2 TEG（東大式エゴグラム）におけるうつ病患者と適応障害患者の特性
○西脇 淳、田才 恵子、川嶋 咲世、伊藤 麻衣、稲井 徳栄
医療法人崇徳会田宮病院
- 1-P13-3 周産期の抑うつ状態と関連する人格傾向の検討
○中村 由嘉子、岡田 俊、森川 真子、山内 彩、佐藤 真耶、大原 聖子、久保田 智香、尾崎 紀夫
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野
- 1-P13-4 うつ病患者での血中コルチゾールと脳画像
○吉村 玲児
産業医科大学精神医学
- 1-P13-5 うつ病患者の VEGF 遺伝子多型と脳形態
○吉村 玲児、ウェン ホワ
産業医科大学精神医学
- 1-P13-6 うつ病診断における光トポグラフィー検査（NIRS）の妥当性の検討
○田中 晋、田中 政春、田中 弘
医療法人楽山会三島病院精神科

6月20日(木) ポスター会場3 (センター 2F) [201前ホワイエ]

12:50~13:38 一般演題 (ポスター) 14
統合失調症 8

司会：稲本 淳子 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

1-P14-1 20 歳未満の統合失調症関連障害の後方視的分析

○石橋 孝勇、島袋 盛洋、近藤 毅
琉球大学医学部付属病院精神科神経科

1-P14-2 当院における悪性緊張病に対する治療経験

○高津 圭介¹、三田村 康衣²、菊池 綾子¹、磯野 友厚¹、大塚 祐司¹、川副 泰成¹、青木 勉¹
¹総合病院国保旭中央病院、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

1-P14-3 高齢統合失調症患者の入院要因に関する検討

○秋山 久、吉田 雄介、三浦 元、細川 嘉之、本間 裕士
国立病院機構帯広病院精神・神経科

1-P14-4 統合失調症と特異的な身体奇形の間表現型を有する家系における遺伝子解析

○横塚 紗永子¹、中村 雅之¹、佐々木 なつき¹、富安 陽子¹、永井 美緒^{1,2}、佐野 輝¹
¹鹿児島大学病院、²松山赤十字病院

1-P14-5 精神科訪問看護導入による統合失調症の初回入院患者の再入院予防効果の検証

○武内 清子、宋 龍平
岡山県精神科医療センター医局

1-P14-6 デイケアを利用している統合失調症患者の地域生活を支える要因の検討

○北畑 雄大¹、辻 富基美²、小池 なお美²、喜多 彬¹、上西 優介²、坂本 友香¹、小野 紀夫¹、
糸川 秀彰¹、下原 文明¹、高橋 隼²、山本 真弘²、鶴飼 聡²
¹紀南こころの医療センター、²和歌山県立医科大学神経精神医学教室

12:50~13:38 一般演題 (ポスター) 15
統合失調症 9

司会：赤穂 理絵 東京女子医科大学 精神医学講座

1-P15-1 ブレクスピプラゾールで悪性症候群を呈した一例

○恩田 優子、野地 貴、井上 佳祐、許 博陽、野本 宗孝、六本木 知秀、高橋 雄一
横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター

1-P15-2 クロザピン使用患者における無顆粒球症 -本邦全例調査の結果より-

○松井 健太郎¹、稲田 健¹、石橋 美貴子¹、河野 仁彦²、押淵 英弘¹、石郷岡 純³、西村 勝治¹
¹東京女子医科大学医学部精神医学講座、²医療法人一誠会都城新生病院、³CNS薬理研究所

1-P15-3 統合失調症の再燃に対して抗精神病薬持効性注射剤を導入した一例

○石川 新¹、木村 宏之²、阿部 浩崇²、尾崎 紀夫²
¹愛知県精神医療センター、²名古屋大学医学部附属病院精神科

1-P15-4 皮膚終末糖化産物は統合失調症患者における光過敏性のバイオマーカーとなるか

○谷 恵梨子¹、大沼 徹¹、廣瀬 仁樹¹、中山 賢¹、毛 婉怡¹、中平 茉莉子¹、折茂 生裕¹、
山下 大樹¹、竹林 佑人¹、三木 康衣¹、勝田 成昌¹、西紋 昌平¹、長谷川 敏男²、込山 悦子²、
須賀 康²、池田 志孝²、新井 平伊¹
¹順天堂大学医学部附属順天堂医院精神医学講座、²順天堂大学医学部皮膚科学講座



1-P15-5 統合失調症における安静時脳活動について：脳磁図を用いた神経ネットワークのグラフ解析による検討

○田川 みなみ^{1,2}、武井 雄一²、加藤 隆³、須藤 友博¹、大城 武史⁴、櫻井 敬子²、福田 正人²

¹群馬県立精神医療センター、²群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教室、

³医療法人康生会つつじメンタルホスピタル、⁴東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻

1-P15-6 クロザピンを投与中に抗好中球細胞質抗体陽性となった治療抵抗性統合失調症の2例の長期経過

○佐藤 優真^{1,2}、菊池 結花²、佐々木 諒³、齋藤 英知¹、神林 崇⁴、三島 和夫²、清水 徹男⁵

¹能代厚生医療センター精神科、²秋田大学大学院医学系研究科医学専攻病態制御医学系精神科学講座、

³秋田県立リハビリテーション・精神医療センター、⁴筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構、

⁵秋田県精神保健福祉センター

12:50～13:38 一般演題（ポスター）16 神経症性障害とその類縁 1

司会：岩田 正明 鳥取大学医学部精神科

1-P16-1 入院森田療法の経過中に怒りが治療のテーマとなった強迫症2症例

○舘野 歩^{1,2}

¹東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科、²東京慈恵会医科大学森田療法センター

1-P16-2 摂食障害の患者・家族に対する自助グループ支援の経験

○川嶋 義章

南浜病院精神科

1-P16-3 無症状性の強迫傾向の皮質－線条体における相関

○久保田 泰考¹、佐藤 弥²、河内山 隆紀³、義村 さや香⁴、崎濱 盛三⁵、十一 元三⁴

¹滋賀大学保健管理センター、²京都大学こころの未来研究センター、

³株式会社国際電気通信基礎技術研究所/脳情報通信総合研究所、⁴京都大学大学院医学研究科人間健康科学系、

⁵医療法人社団洛和会洛和会音羽病院

1-P16-4 J・S・バッハのマタイ受難曲第52曲によって表現された失感情症の精神医学的考察

○細田 信一

医療法人社団松籟会宇都宮西ヶ丘病院

1-P16-5 当科における強迫症の多職種連携入院治療プログラムの実践と有効性調査

○岡崎 敏馬、向井 馨一郎、林田 和久、前林 憲誠、宮内 雅弘、橋本 卓也、吉田 賀一、

鈴木 健太、徳谷 晃、松永 寿人

兵庫医科大学病院

1-P16-6 神経性やせ症患者の臨床的特徴における30年間の変遷

○原田 朋子、山内 常生、宮本 沙緒里、西幹 和哉、松塚 巧、本多 美穂子、井上 幸紀

大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

12:50～13:38 研修医・学部学生演題（ポスター）1 研修医・学部学生 1

司会：岡田 剛 広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学

1-KP1-1 「僕もADHD?」：尤度比計算尺を用いたベイズ確率の可視化

○古川 由己、古水 克明

総合病院南生協病院

1-KP1-2

自閉スペクトラム症の経過中に右優位の意味性認知症が明らかになった 1 例

○下島 里音¹、横山 裕一²、吉田 悠里²、徳武 孝允³、池内 健⁴、染矢 俊幸²

¹新潟大学医歯学総合病院総合臨床研修センター、²新潟大学医歯学総合病院精神科、

³新潟大学医歯学総合病院神経内科、⁴新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学分野

1-KP1-3

ヒトの自己・他者の認知に関する機能的神経画像研究

○前田 遥、川崎 康弘、和田 彩令奈、土田 和奈、上原 隆、長澤 達也、嶋田 貴充、片岡 譲
金沢医科大学精神神経科学

1-KP1-4

安静時脳機能 MRI から得られる局所均一性を用いた、実行機能の改善に関する領域の検討

○黒下 彰喜¹、根本 清貴²、所 圭吾³、山田 典子⁴、田村 昌士⁴、白庭 等⁴、Adam Lebowitz⁵、
石川 和宏⁶、関根 彩⁷、新井 哲明²

¹筑波大学医学群医学類、²筑波大学医学医療系精神医学、³Rise Total Support、⁴茨城県立こころの医療センター、

⁵自治医科大学医学部総合教育部門、⁶池田病院、⁷筑波大学附属病院

1-KP1-5

安静時脳機能 MRI から得られる機能的結合を用いた、実行機能の改善に関する領域の検討

○本多 皓一¹、根本 清貴²、所 圭吾³、山田 典子⁴、田村 昌士⁴、白庭 等⁴、Adam Lebowitz⁵、
石川 和宏⁶、関根 彩⁷、新井 哲明²

¹筑波大学医学群医学類、²筑波大学医学医療系精神医学、³Rise Total Support、⁴茨城県立こころの医療センター、

⁵自治医科大学医学部総合教育部門、⁶池田病院、⁷筑波大学附属病院精神神経科

1-KP1-6

新潟大学精神科リエゾンチームの活動：せん妄予防を目的とした睡眠薬適正使用の取り組み

○横山 航平、横山 裕一、橋尻 洸陽、宮下 真子、國塚 拓郎、塚野 満明、横尾 ゆかり、
染矢 俊幸

新潟大学医歯学総合病院精神科



6月20日(木) ポスター会場4 (センター 3F) [301・302前ホワイエ]

12:50～13:38 一般演題 (ポスター) 17 児童・思春期精神障害および知的障害 1

司会：赤田 卓志朗 群馬県立精神医療センター

- 1-P17-1 発達障害症例に、一般精神科病棟にて TEACCH・応用行動分析を取り入れて治療した 1 例**
○千葉 洋平、千石 利広、牧口 幸一、坂本 隆、吉田 宏美、長谷川 博一、武田 修、森山 奈津子、町田 憲彦、関谷 修
津軽保健生活協同組合藤代健生病院
- 1-P17-2 児童・思春期精神科入院患者における QT 延長の頻度：後ろ向きコホート研究**
○齊藤 慧¹、公家 里依^{1,2}、長沢 崇¹、大倉 勇史¹、三浦 大^{3,4}
¹東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科、²信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部、³東京都立小児総合医療センター循環器科、⁴東京都立小児総合医療センター臨床研究支援センター
- 1-P17-3 致命的な自殺行動を行い、当センターに入院することとなった未成年患者の特徴について**
澤田 健、○服部 道成、川村 静香、藤 美佳子、永野 志歩
高知医療センター精神科
- 1-P17-4 成人期発達障害における ADOS-2 評価の検討**
○花輪 洋一、林 若穂、青柳 啓介、岩見 有里子、太田 真里絵、佐藤 綾夏、新井 豪佑、佐賀 信之、太田 晴久、岩波 明
昭和大学附属烏山病院精神医学講座
- 1-P17-5 気分障害、物質関連障害における AQ と CAARS**
○小島 睦^{1,2}、中村 暖^{1,2}、宇野 宏光^{1,2}、林 若穂^{1,2}、石井 弘毅^{1,2}、宮保 嘉津真^{1,2}、川合 秀明^{1,2}、岩見 有里子¹、長塚 雄大^{1,2}、佐藤 諒太郎^{1,2}、石川 文徳^{1,2}、花輪 洋一^{1,2}、小野 英里子^{1,2}、神保 光一^{1,2}、新村 一樹^{1,2}、笹森 大貴^{1,2}、横山 佐知子²、吉澤 徹²、石部 穰^{1,2}、中村 亮介^{1,2}、常岡 俊昭^{1,2}、岩波 明^{1,2}
¹昭和大学附属烏山病院、²昭和大学医学部精神医学講座
- 1-P17-6 小児総合病院におけるコンサルテーション・リエゾン～千葉県こども病院の現状～**
○河岸 嶺将、富田 陽子、横田 瑛子、井原 祐子、敦賀 壮太、小菅 ちひろ、安藤 咲穂
千葉県こども病院

12:50～13:38 一般演題 (ポスター) 18 薬物療法・その他

司会：寺田 整司 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学

- 1-P18-1 統合失調症患者の服薬アドヒアランスについての治療者の認識：精神科医を対象とした国際的オンライン調査**
○黒川 駿哉¹、岸本 泰士郎¹、田澤 雄基¹、高宮 彰紘¹、堀込 俊郎¹、三村 将¹、ケイン ジョン²
¹慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、²Department of Psychiatry, The Zucker Hillside Hospital
- 1-P18-2 統合失調症以外の精神疾患患者に対するアリピプラゾール持続性注射剤の有効性と安全性**
○岩見 有里子、川合 秀明、長塚 雄大、山田 真理、常岡 俊昭、岩波 明
昭和大学附属烏山病院精神科
- 1-P18-3 スボレキサントによって惹起されたせん妄の 1 例**
○吉田 和貴¹、古郡 規雄^{1,2}、中村 和彦¹
¹弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、²獨協医科大学精神神経医学講座

1-P18-4

精神疾患・身体合併症センターの設立

○松田 達也¹、和田 大樹²、池田 俊一郎¹、許 全利¹、山田 妃沙子²、住田 緒理依²、織田 裕行¹、中森 靖²、木下 利彦¹

¹関西医科大学附属滝井病院精神神経科、²関西医科大学総合医療センター

1-P18-5

信州大学医学部附属病院精神科における初診時診断の推移 第2報

○高橋 翔¹、山本 和希²、中村 敏範¹、萩原 朋美³、萩原 徹也¹、鷺塚 伸介¹

¹信州大学医学部精神医学教室、²長野県立こころの医療センター駒ヶ根、³信州大学医学部地域精神医療学講座

1-P18-6

老年期精神病に対して電気けいれん療法が著効し寛解に至った一例

○佐竹 祐人^{1,2}、吉山 顕次¹、志村 容子¹、佐々木 祥子^{1,3}、岩瀬 真生¹、池田 学¹

¹大阪大学医学部附属病院神経科精神科、²大阪急性期・総合医療センター、³国立国際医療研究センター国府台病院

12:50~13:38 一般演題（ポスター）19 神経症性障害とその類縁2

司会：木村 真人 日本医科大学千葉北総病院

1-P19-1

青年期における日本語版摂食障害簡易スクリーニング検査 SCOFF の有用性についての検討

○細田 豊¹、大溪 俊幸²、花澤 寿³、田中 麻未⁴、橋本 佐⁵、伊豫 雅臣¹、中里 道子⁶

¹千葉大学医学部附属病院精神神経科、²千葉大学総合衛生安全管理機構、³千葉大学教育学部養護教育講座、⁴千葉大学社会精神保健教育研究センター、⁵社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院、⁶国際医療福祉大学

1-P19-2

トラウマ体験と自殺との関連：近年の論文をもとにした論考

○大江 美佐里、石田 哲也、千葉 比呂美、長沼 清、小林 雄大、内村 直尚

久留米大学医学部精神神経科

1-P19-3

肉芽腫性口唇炎の発症後に表面化した強迫症の1症例

○萩倉 美奈子¹、稲田 俊也²、松本 由紀奈¹、萩倉 祥一¹、飯倉 康郎^{1,3}、藤田 潔¹

¹桶狭間病院藤田こころケアセンター精神科、²名古屋大学大学院医学系研究科精神生物学分野、³医療法人社団宗仁会筑後吉井こころホスピタル

1-P19-4

汚染/洗浄強迫の汚染の方向性による異種性の検討 第2報

○向井 馨一郎、橋本 卓也、宮内 雅弘、中嶋 章浩、山西 恭輔、前林 憲誠、林田 和久、松永 寿人

兵庫医科大学病院

1-P19-5

重症かつ難治性の強迫症に対するN-アセチルシステインの使用経験

○渡邊 崇^{1,2,3}、下田 和孝¹

¹獨協医科大学精神神経医学講座、²桂慈会菊池病院、³さくら・ら心療内科

1-P19-6

身体表現性障害として治療中、咽頭部違和感にビペリデンが有効だった一例

○富田 哲¹、古郡 規雄^{1,2}、中村 和彦¹

¹弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、²獨協医科大学精神神経医学講座



6月20日(木) ポスター会場5 (センター 4F) [国際会議室前ホワイエ]

12:50～13:38 一般演題 (ポスター) 20 検査・診断・その他

司会：山本 賢司 東海大学医学部専門診療学系精神科学

1-P20-1 地域在住の高齢者を対象として唾液中 MHPG 濃度と頭部 MRI 画像解析結果の関連を検討する
○福地 絢子、今村 義臣、溝口 義人、門司 晃
佐賀大学精神科

1-P20-2 自閉スペクトラム症の傾向と白質線維束における関連解析の試み
○戸田 亘¹、松本 純弥¹、板垣 俊太郎¹、大西 隆²、伊藤 浩³、石井 士朗³、志賀 哲也¹、
松本 貴智¹、青木 俊太郎¹、三浦 至¹、矢部 博興¹
¹福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、²ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部、
³福島県立医科大学医学部放射線医学講座

1-P20-3 生来の白血球数・顆粒球数とクロザピン誘発性顆粒球減少症：Mendelian Randomization 解析
○島崎 愛夕^{1,2}、齋藤 竹生¹、大河内 智¹、谷口 賢¹、二宮 光平¹、橋本 亮太^{3,4}、池田 匡志¹、
岩田 伸生¹、CPC-J日本クロザピン薬理ゲノム学コンソーシアム¹
¹藤田医科大学精神神経科学、²桶狭間病院藤田こころケアセンター、
³国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、⁴大阪大学

1-P20-4 成人発達障害専門外来における通院継続・中断率について
○中村 善文、太田 晴久、西尾 崇志、土岐 幸生、傳 佳慧、加藤 進昌、岩波 明
昭和大学附属烏山病院

1-P20-5 心理社会因子が地域で生活する統合失調症者のリカバリーに与える影響
○上原 徹¹、岡本 隆寛^{1,2}
¹高崎健康福祉大学大学院・保健福祉学専攻、²順天堂大学看護学科

12:50～13:38 一般演題 (ポスター) 21 産業精神医学

司会：森川 将行 三重県立こころの医療センター

1-P21-1 中小企業勤労者に対する昭和大学精神科のメンタルヘルス活動
○石井 弘毅、高塩 理、岡島 由佳、長井 友子、平田 亮人、青柳 啓介、佐藤 諒太郎、
石川 文徳、岩波 明
昭和大学附属烏山病院精神科

1-P21-2 残業時間は心身のストレス反応に直接影響せず、睡眠時間の短縮や食生活の乱れを介して不調をもたらす
○渡邊 天志^{1,2}、志村 哲祥²、井上 猛²
¹成仁病院精神神経科、²東京医科大学精神医学分野

1-P21-3 職業性ストレス、ストレス反応、睡眠の問題はプレゼンティズムにどのような影響を与えるのか
○古市 亘、志村 哲祥、美山 仁、大野 浩太郎、市来 真彦、井上 猛
東京医科大学精神医学分野

1-P21-4 小児期の被養育体験と神経症傾向が職業性ストレスに与える複合的影響の検討
○積 知輝¹、成瀬 麻夕¹、藤村 洋太^{1,2}、志村 哲祥¹、市来 真彦¹、井上 猛¹
¹東京医科大学病院精神科、²東京医科大学八王子医療センター

1-P21-5

夜型のクロノタイプを持つ者の早すぎる起床時刻は、心身のストレス反応を招く

○美山 仁、志村 哲祥、古市 亘、成瀬 麻夕、大野 浩太郎、市来 真彦、井上 猛
東京医科大学精神医学分野

1-P21-6

小児期の被養育体験とレジリエンスが職業性ストレスに与える複合的影響の検討

○鮫島 寛人¹、成瀬 麻夕¹、志村 哲祥¹、榊屋 二郎^{1,2}、市来 真彦¹、中島 聡美³、井上 猛¹
¹東京医科大学精神医学分野、²東京医科大学茨城医療センター精神科、³武蔵野大学人間科学部

12:50~13:38 **一般演題（ポスター）22**
統合失調症 10

司会：本多 義治 医療法人爽神堂 七山病院

1-P22-1

At-risk mental state および統合失調症における眼窩前頭皮質の脳溝脳回パターンと社会-認知機能の関連

○高橋 努¹、中村 美保子¹、西川 祐美子¹、小森 祐子¹、西山 志満子¹、高柳 陽一郎¹、古市 厚志¹、木戸 幹雄¹、笹林 大樹¹、樋口 悠子¹、野口 京²、鈴木 道雄¹
¹富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、²富山大学大学院医学薬学研究部放射線診断・治療学講座

1-P22-2

At-risk mental state および統合失調症における透明中隔腔と臨床特徴の関連

○高橋 努¹、中村 美保子¹、西川 祐美子¹、小森 祐子¹、西山 志満子¹、高柳 陽一郎¹、古市 厚志¹、木戸 幹雄¹、笹林 大樹¹、樋口 悠子¹、野口 京²、鈴木 道雄¹
¹富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、²富山大学大学院医学薬学研究部放射線診断・治療学講座

1-P22-3

統合失調症における $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体：[11C](R)-MeQAA を用いた PET 脳画像の予備的研究

○和久田 智靖¹、横倉 正倫¹、中泉 享子¹、加藤 康彦¹、亀野 陽亮¹、桑原 齊¹、二ツ橋 昌実²、吉川 悦次²、間賀田 泰寛³、尾内 康臣⁴、武井 教使⁵、山末 英典¹
¹浜松医科大学医学部附属病院精神科神経科、²浜松ホトニクス、³浜松医科大学医学部分子病態イメージング研究室、⁴浜松医科大学医学部生体機能イメージング研究室、⁵浜松医科大学子どものこころの発達研究センター

1-P22-4

胎生期免疫ストレス誘発統合失調症モデルの社会性行動と GABA 作動性インターニューロン変化に関する研究

○橋本 恵理、鷲飼 渉、西村 恵美、橋口（辻野）華子、木川 昌康、田山 真矢、出利葉 健太、廣瀬 奨真、古瀬 研吾、石井 貴男、河西 千秋
札幌医科大学医学部神経精神医学講座

1-P22-5

統合失調症患者を対象としたブレクスピブラゾールの長期投与試験における切り替え例に関する追加解析

○石郷岡 純¹、間宮 教之²、小島 慶嗣²、岩下 修一²、宇佐美 智浩²
¹医療法人石郷岡病院、²大塚製薬株式会社

1-P22-6

統合失調症患者のメタボリックシンドロームを改善するデイケアでの取り組み

○福井 弘恵¹、八藤後 昭代¹、志田 幸枝¹、相馬 多恵子¹、大鷹 李予¹、鈴木 雄太郎^{1,2}
¹末広橋病院精神科、²新潟大学医歯学総合病院



12:50~13:38 一般演題（ポスター）23
統合失調症 11

司会：清水 徹男 秋田県精神保健福祉センター

1-P23-1 外来-入院統合失調症患者における生活習慣病罹患率の差異

○恩田 啓伍¹、須貝 拓朗²、鈴木 雄太郎²、山崎 學³、下田 和孝⁴、森 隆夫³、尾関 祐二⁴、
松田 ひろし³、菅原 典夫⁶、古郡 規雄^{7,8}、岡本 呉賦³、寒河江 豊昭⁵、染矢 俊幸²

¹新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院、²新潟大学医歯学総合病院、³日本精神科病院協会、

⁴獨協医科大学病院、⁵山形県立米沢栄養大学、⁶国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、

⁷弘前大学医学部附属病院、⁸獨協医科大学精神神経医学講座

1-P23-2 Clozapine により好酸球増加症が生じたが継続投与が可能であった治療抵抗性統合失調症の一例

○藤本 美智子^{1,2}、山森 英長^{2,3}、安田 由華^{2,4}、加藤 恒⁵、金倉 譲⁵、岩瀬 真生¹、池田 学¹、
橋本 亮太^{2,6}

¹大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、

²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

³独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院、⁴生きる・輝く・育むメンタルクリニック、

⁵大阪大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学、⁶大阪大学

1-P23-3 プロナセリンとリスペリドンの自律神経活動へ与える影響の比較

○服部 早紀¹、須田 顕¹、岸田 郁子^{1,2}、宮内 雅利¹、白石 洋子¹、藤林 真美³、辻田 那月⁴、
石井 千恵²、石井 紀夫²、福島 端⁵、佐伯 隆史⁵、森谷 敏夫⁶、平安 良雄⁷

¹横浜市立大学医学部精神医学教室、²医療法人社団清心会藤沢病院、³摂南大学、

⁴京都大学大学院人間・環境学研究科、⁵医療法人誠心会あさひの丘病院、⁶京都産業大学、⁷医療法人へいあん平安病院

1-P23-4 当院外来における risperidone 持効性注射剤の使用状況と継続率に関する因子

○許 全利、嶽北 佳輝、越川 陽介、坂井 志帆、加藤 正樹、木下 利彦
関西医科大学精神神経科学講座

1-P23-5 早期精神症における大脳白質微細構造と幻覚との関連

○佐藤 祐太郎^{1,2}、佐久間 篤²、大室 則幸²、桂 雅宏²、阿部 光一¹、富本 和歩¹、飯塚 邦夫²、
松岡 洋夫^{1,2}、富田 博秋^{1,2,3}、松本 和紀^{1,2}

¹東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、²東北大学病院精神科、

³東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野

1-P23-6 統合失調症における社会機能と語流暢課題遂行中の前頭前皮質機能の関係：光トポグラフィ検査を用いた研究

○板倉 征史、朴 盛弘、大立 博昭、松村 博史、横山 勝利、長田 泉美、岩田 正明、兼子 幸一
鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

12:50~13:38 一般演題（ポスター）24
統合失調症 12

司会：一瀬 邦弘 多摩中央病院

1-P24-1 統合失調症患者の健康意識と MetS 罹患率との関連

○須貝 拓朗¹、鈴木 雄太郎¹、山崎 學²、下田 和孝³、森 隆夫²、尾関 祐二³、松田 ひろし²、
菅原 典夫⁴、古郡 規雄^{3,5}、岡本 呉賦²、寒河江 豊昭⁶、染矢 俊幸¹

¹新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、²公益社団法人日本精神科病院協会、

³獨協医科大学精神神経医学講座、

⁴国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター、

⁵弘前大学大学院神経精神医学講座、⁶山形県立米沢栄養大学

1-P24-2 血漿中アミノ酸濃度と認知機能の関係：構造方程式モデリングを用いた評価

○尾関 祐二^{1,2}、関根 正恵³、藤井 久彌子¹、岡安 寛明¹、秋山 一文⁴、本間 浩³、下田 和孝¹

¹獨協医科大学精神神経医学講座、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、

³北里大学薬学部生体分子解析学、⁴獨協医科大学精神生物学講座

- 1-P24-3 外来統合失調症の持続性注射剤の長期使用における有用性と安全性 -リカバリーを目指した治療のために-
○窪田 幸久
中央公園クリニック
- 1-P24-4 統合失調症における Y 染色体モザイク欠損の検討
○平田 尚士、菱本 明豊、大塚 郁夫、岡崎 賢志、朴 秀賢、木村 敦、蓬萊 政、曾良 一郎
神戸大学大学院医学研究科精神医学分野
- 1-P24-5 単純型統合失調症と考えられた 1 症例 -アセナピンの使用経験-
○中川 東夫、池原 理恵、岡田 豊人
医療法人松原会七尾松原病院精神科
- 1-P24-6 統合失調症における社会機能と QOL の変化に対する社交不安症状の関与
○根本 隆洋¹、相川 さやか¹、松尾 悟志²、間宮 教之²、和田 葉¹、田久保 陽司¹、山口 英理子¹、
内野 敬¹、田形 弘実¹、紫藤 佑介¹、松村 堯明¹、馬場 遥子¹、松本 裕史¹、船渡川 智之¹、
柴崎 佳幸²、宇佐美 智浩²、山口 大樹¹、片桐 直之¹、辻野 尚久¹、水野 雅文¹
¹東邦大学医学部精神神経医学講座、²大塚製薬株式会社メディカル・アフェアーズ部

12:50~13:38 一般演題 (ポスター) 25
統合失調症 13

司会：篠崎 和弘 浅香山病院臨床研究研修センター

- 1-P25-1 Clozapine 投与により就労就学に繋がった若年統合失調症患者三症例
○内山 翔太郎、朝山 健太郎、館野 周、大久保 善朗
日本医科大学付属病院精神神経科
- 1-P25-2 統合失調症入院患者の体重管理に対する取り組み
○佐野 英孝、庭野 弥栄子、益川 和也、金子 しのぶ、五十嵐 さゆみ、小笠原 小百合、吉沢 美咲
白根緑ヶ丘病院精神科
- 1-P25-3 統合失調症患者におけるビフィズス菌とオリゴ糖による便性状改善の取り組み
○渡邊 晴香¹、鈴木 雄太郎^{1,2}、羽賀 優美子¹、山田 旭子¹、長谷川 優子¹、藤田 美香¹、
八藤後 昭代¹、福井 弘恵¹
¹末広橋病院、²新潟大学医歯学総合病院
- 1-P25-4 科学的根拠に基づく統合失調症薬物治療を支える医療機関のシステムについての調査
○三澤 史斉¹、内田 裕之²、武田 俊彦³、藤井 康男¹、宮田 量治¹
¹山梨県立北病院、²慶應義塾大学病院、³公益財団法人慈主会慈主病院
- 1-P25-5 アリピプラゾール持続性水懸筋注用製剤(ARP-LAI)が統合失調症患者の処方に与える影響についての検討
○森川 文淑¹、栗野 雄大²、昔農 雄太¹、飯田 愛弓¹、田端 一基¹、猪俣 光孝¹、直江 寿一郎¹
¹医療法人社団旭川圭泉会病院、²あわの診療所
- 1-P25-6 多職種連携が有効であった青年期統合失調症の二例
○増澤 菜生¹、高橋 聡子¹、白井 文臣²、青柳 寿美¹
¹佐潟荘、²訪問看護ステーションつばさ



12:50～13:38 一般演題（ポスター）26
気分障害 7

司会：飯田 順三 奈良県立医科大学看護学科人間発達学

1-P26-1 未治療のうつ病患者での一塩基多型の脳形態への影響の検討

○香月 あすか¹、掛田 伸吾²、渡邊 啓太²、井形 亮平¹、大塚 悠加¹、上田 一生²、興梠 征典²、
吉村 玲児¹

¹産業医科大学精神医学教室、²産業医科大学放射線科

1-P26-2 日本人女性の周産期うつ病の有病割合：メタアナリシス

○徳満 敬大¹、菅原 典夫²、丸尾 和司³、鈴木 利人⁴、古郡 規雄^{5,6}

¹十和田市立中央病院メンタルヘルス科、²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、

³筑波大学医学医療系臨床試験・臨床疫学研究室、⁴順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院、

⁵弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、⁶獨協医科大学精神神経医学講座

1-P26-3 双極性障害を併発し気分安定薬により症状改善を得た強迫症の一例

○佐藤 健登、北條 彩、新貝 慈利、中村 満

成増厚生病院

1-P26-4 難治性うつ状態患者に併存するパーソナリティ障害と作業遂行特徴出現場面との関連

○長島 泉^{1,3}、早坂 友成^{1,2,3}、高江洲 義和^{2,3}、坪井 貴嗣^{2,3}、片桐 建志^{2,3}、野崎 和博^{2,3}、今村 弥生^{2,3}、
松本 由美³、栗原 真理子^{2,3}、大江 悠樹^{2,3}、二田 未来^{2,3}、渡邊 衡一郎^{2,3}

¹杏林大学保健学部作業療法学科、²杏林大学医学部精神神経科学教室、³杏林大学医学部附属病院

1-P26-5 リチウム投与が中枢性無呼吸および閉塞性無呼吸の出現に関係したと考えられる 1 例

○神田 優太¹、中島 亨²

¹杏林大学精神神経学教室、²杏林大学保健学部臨床心理学科

1-P26-6 うつ病寛解直後に強迫症を発症した一例

○大塚 道人、大竹 裕美、上馬場 伸始

新潟県立新発田病院精神科

6月20日(木) ポスター会場6 (ホテル 4F) [朱鷺ホワイエ]

12:50~13:38 一般演題 (ポスター) 27
神経症性障害・その他

司会：橘 輝 新潟大学

1-P27-1 解離性健忘における脳血流 SPECT 画像の 3D-SRT 解析における検討：ケースシリーズ

○泉 竜太¹、松本 純弥¹、國井 泰人^{1,2}、戸田 亘¹、石井 士朗³、伊藤 浩³、三浦 至¹、矢部 博興¹
¹福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、²福島県立医科大学会津医療センター附属病院、
³福島県立医科大学医学部放射線医学講座

1-P27-2 解離性幻聴が強くみられた強迫性障害の一例

○一瀬 瑞絵、松本 純弥、板垣 俊太郎、刑部 有祐、山本 慎之助、三浦 至、矢部 博興
福島県立医科大学附属病院神経精神医学講座

1-P27-3 併存したパニック症症状が経過や治療に悪影響を及ぼしていた強迫症の2例

○橋本 卓也¹、向井 馨一郎¹、澤井 幸代¹、日下部 新²、柳澤 嘉伸³、前林 憲誠¹、林田 和久¹、
吉田 賀一⁴、松永 寿人¹
¹兵庫医科大学病院兵庫医科大学精神神経科、²医療法人仁真会白鷺病院、³医療法人古橋会揖保川病院、
⁴兵庫医科大学病院兵庫医科大学臨床心理部

1-P27-4 皮下気腫・縦隔気腫を合併した神経性無食欲症の一例

○上村 永¹、下出 崇輝¹、村田 佳子¹、松尾 幸治¹、太田 敏男²
¹埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科、²さやま総合クリニック

1-P27-5 『ひきこもり』者の回避性パーソナリティ特性と血中バイオマーカー

○早川 宏平¹、加藤 隆弘¹、渡部 幹²、テオ アラン^{3,4}、堀川 英喜¹、桑野 信貴¹、下川 憲宏¹、
佐藤 美那¹、久保 浩明¹、扇谷 昌宏¹、佐方 功明¹、戸田 裕之⁵、館農 勝⁶、新福 尚隆⁷、
岸本 淳司⁸、神庭 重信¹
¹九州大学大学院医学研究院精神病態医学分野、²モナッシュ大学マレーシア校ビジネススクール、³VA Port-
land Health Care System、⁴Department of Psychiatry, Oregon Health and Science University、
⁵防衛医科大学校病院精神科、⁶札幌医科大学医学部神経精神医学講座、⁷神戸大学医学部医学医療国際交流センター、
⁸九州大学大学院医学研究院次世代医療研究開発講座

12:50~13:38 一般演題 (ポスター) 28
てんかん

司会：和知 学 医療法人青山信愛会 新潟信愛病院

1-P28-1 Perampanel が発作周辺期精神症状に対し有効であった難治性てんかんの一例

○長谷川 直哉¹、福多 真史²
¹国立病院機構西新潟中央病院てんかんセンターてんかん科、
²国立病院機構西新潟中央病院てんかんセンター脳神経外科

1-P28-2 強直発作後に意識障害が遷延し、非けいれん性てんかん重積と診断した一例

○北元 健、横山 誠、元永 悠介、吉永 陽子
医療法人社団碧水会会長谷川病院

1-P28-3 てんかん患者のセルフスティグマ低減方法の開発に向けた質的研究

○倉持 泉^{1,2,3}、堀川 直史⁴、下津 咲絵⁵、樋渡 豊彦^{2,6}、渡辺 雅子⁷、村田 佳子^{1,3}、渡邊 さつき^{1,3}、
岡崎 光俊³、吉益 晴夫²、松尾 幸治¹、太田 敏男⁸
¹埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科、²埼玉医科大学総合医療センター、
³国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、⁴埼玉医科大学かわごえクリニック、
⁵京都女子大学発達教育学部、⁶社会福祉法人埼玉医療福祉会丸木記念福祉メディカルセンター、
⁷新宿神経クリニック、⁸さやま総合クリニック



- 1-P28-4 **ペランパネル使用患者における精神症状出現に関する検討**
○水村 亮介¹、渡邊 さつき²、石川 章¹、岸野 亨¹、倉持 泉²、村田 佳子²、岡島 宏明²、
松尾 幸治²、太田 敏男³
¹埼玉医科大学病院薬剤部、²埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科、³さやま総合クリニック
- 1-P28-5 **解離性障害として6か月经過観察された後に辺縁系脳炎と診断された一例**
○茨木 文博¹、中村 蓉子²、池井 大輔²、岩井 一正¹
¹地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター精神科、²横浜市立みなと赤十字病院
- 1-P28-6 **ラコサミド導入後、周期性一側てんかん性発射の消退と易刺激性・衝動性の改善をみた器質性精神障害の一例**
○谷本 夏妃¹、倉持 泉¹、平田 吾一¹、岡井 公志¹、高杉 綾香¹、今泉 照明^{1,2}、渡邊 さつき¹、
松岡 孝裕^{1,2}、松尾 幸治¹、太田 敏男³
¹埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科、²埼玉医科大学国際医療センター精神科救命救急科、
³さやま総合クリニック

12:50~13:38 **一般演題（ポスター）29**
認知症 1

司会：森田 昌宏 三島病院 認知症疾患医療センター

- 1-P29-1 **Sertraline により常同・脱抑制行動が増悪した前頭側頭型認知症の一例**
○宮本 忍
黒川病院
- 1-P29-2 **アルツハイマー病患者における誤認妄想の神経基盤について**
○橋本 衛¹、福原 竜治²、津野田 尚子³、竹林 実¹
¹熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野、²熊本大学医学部附属病院神経精神科、³みつぐまち診療所
- 1-P29-3 **幻視、脱抑制、認知症を呈した Fahr 病の一例**
○橋尻 洸陽^{1,3}、小野 信^{1,2,3}、小泉 暢大栄^{1,3}、細木 俊宏¹
¹新潟県立精神医療センター、²新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座、
³新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野
- 1-P29-4 **高齢者の嫉妬妄想がドネペジルにより改善した 1 例**
○恩田 啓伍¹、折目 直樹²、横山 裕一²、染矢 俊幸²
¹新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院、²新潟大学医歯学総合病院
- 1-P29-5 **石灰沈着を伴うびまん性神経原線維変化病（小阪・柴山病）と特発性基底核石灰化症**
○鵜飼 克行¹、小阪 憲司²、柴山 漠人³
¹社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院、²湘南いなほクリニック、³あさひが丘ホスピタル
- 1-P29-6 **前頭側頭型認知症を疑う臨床症状を呈した Frontal variant アルツハイマー型認知症の一例**
○藤井 由佳¹、諸隈 暢¹、國武 裕¹、江里口 誠²、門司 晃¹
¹佐賀大学医学部附属病院精神神経科、²佐賀大学医学部附属病院神経内科